



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成30年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成30年6月	平成30年9月	前回調査比
茨城県	49.3	50.4	+1.1
県北地域	51.3	50.0	△1.3
県央地域	49.2	53.0	+3.8
鹿行地域	51.3	47.8	△3.5
県南地域	47.9	53.9	+6.0
県西地域	46.9	47.4	+0.5

《景気の先行き判断DI》

	平成30年6月	平成30年9月	前回調査比
茨城県	51.2	50.1	△1.1
県北地域	50.0	50.9	+0.9
県央地域	50.8	53.9	+3.1
鹿行地域	51.3	50.4	△0.9
県南地域	51.3	51.7	+0.4
県西地域	52.6	43.4	△9.2

平成30年10月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	288 人	96.0%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成30年9月調査の調査期間は、平成30年9月5日から平成30年9月30日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは50.4となった。平成30年6月調査(以下、「前回調査」という。)より1.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

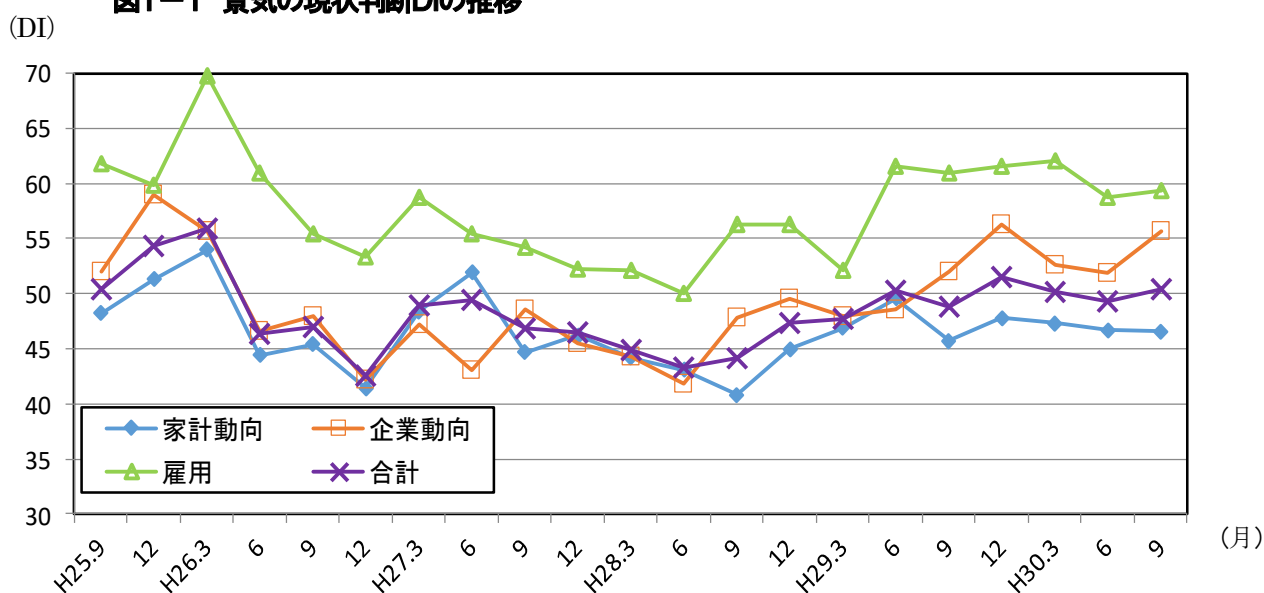
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成29年 9月	平成29年 12月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月
合計	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4
家計動向関連	45.7	47.8	47.3	46.7	46.6
小売関連	43.6	44.1	48.5	44.9	44.8
飲食関連	43.5	47.9	47.8	45.7	42.4
サービス関連	46.5	49.4	43.8	47.8	47.7
住宅関連	61.1	63.9	66.7	52.8	62.5
企業動向関連	52.0	56.3	52.6	51.9	55.6
農林水産業	57.1	50.0	46.9	59.4	56.3
製造業	54.3	54.6	51.0	52.6	57.3
非製造業	47.9	60.0	56.5	49.3	53.0
雇用関連	60.9	61.5	62.0	58.7	59.4

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成29年 9月	1.7%	20.2%	53.8%	20.2%	4.1%
平成29年12月	3.0%	25.3%	50.0%	18.0%	3.7%
平成30年 3月	2.5%	22.8%	51.9%	18.2%	4.6%
平成30年 6月	2.8%	18.1%	56.6%	18.8%	3.8%
平成30年 9月	3.5%	19.1%	57.6%	15.3%	4.5%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは50.1となった。前回調査より1.1ポイント低下したものの、横ばいを表す50を7期連続で上回った。

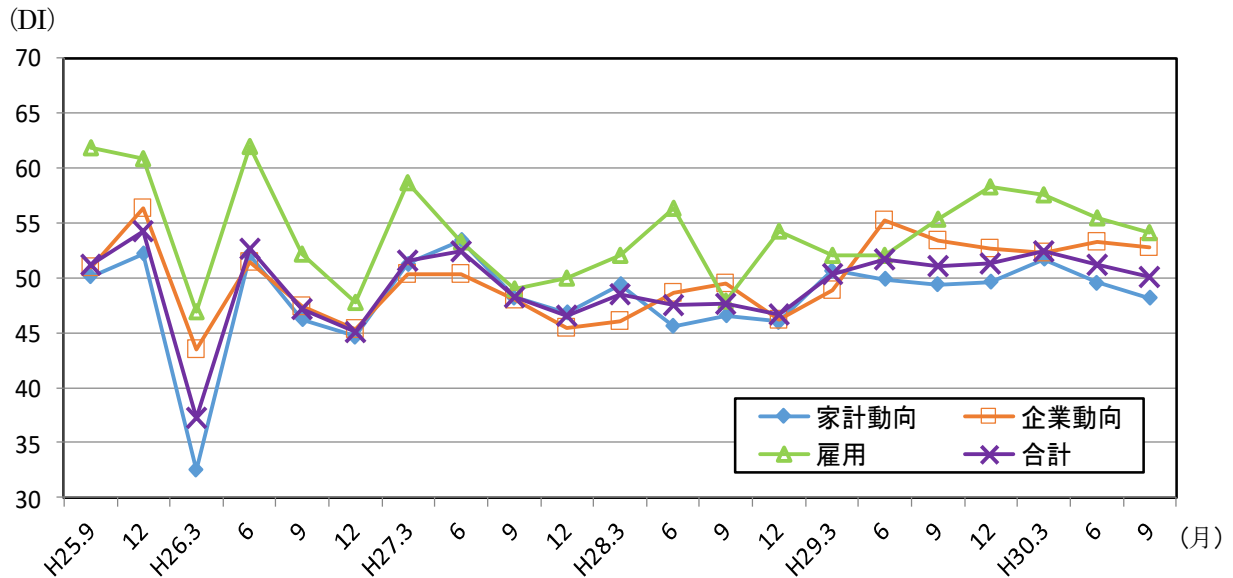
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成29年 9月	平成29年 12月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月
	合計		51.1	51.3	52.4	51.2
家計動向関連	家計動向関連	49.4	49.6	51.7	49.6	48.1
	小売関連	45.7	47.2	48.9	50.0	46.6
	飲食関連	54.3	46.9	54.3	45.7	40.2
	サービス関連	51.0	52.2	52.0	48.4	50.0
	住宅関連	52.8	52.8	63.9	66.7	65.6
企業動向関連	企業動向関連	53.4	52.7	52.3	53.3	52.8
	農林水産業	60.7	46.9	53.1	56.3	43.8
	製造業	52.1	54.1	52.1	53.6	52.1
	非製造業	53.6	52.1	52.4	52.2	56.1
雇用関連	55.4	58.3	57.6	55.4	54.2	

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	2.1%	20.9%	59.6%	14.4%	3.1%
平成29年12月	2.7%	18.0%	63.3%	13.7%	2.3%
平成30年 3月	2.1%	25.6%	56.1%	11.9%	4.2%
平成30年 6月	1.0%	22.9%	58.3%	15.3%	2.4%
平成30年 9月	2.4%	18.1%	60.1%	16.3%	3.1%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは50.0となった。前回調査より1.3ポイント低下し、横ばいを表す50となった。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		52.5	53.3	50.0	51.3	50.0
	家計動向関連	48.6	50.7	47.1	43.9	46.4
	企業動向関連	61.8	60.5	55.3	61.8	55.3
	雇用関連	43.8	43.8	50.0	62.5	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	0.0%	26.7%	58.3%	13.3%	1.7%
平成29年12月	3.3%	28.3%	48.3%	18.3%	1.7%
平成30年 3月	1.8%	26.3%	45.6%	22.8%	3.5%
平成30年 6月	3.6%	17.9%	60.7%	16.1%	1.8%
平成30年 9月	1.7%	22.4%	53.4%	19.0%	3.4%

② 県央地域

景気の現状判断DIは53.0となった。前回調査より3.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.7	51.3	47.9	49.2	53.0
	家計動向関連	50.7	46.8	44.9	48.0	49.3
	企業動向関連	48.4	56.3	46.9	46.9	59.4
	雇用関連	70.0	70.0	81.3	65.0	60.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	5.1%	20.3%	50.8%	23.7%	0.0%
平成29年12月	1.7%	28.3%	43.3%	26.7%	0.0%
平成30年 3月	3.4%	18.6%	49.2%	23.7%	5.1%
平成30年 6月	5.1%	16.9%	50.8%	23.7%	3.4%
平成30年 9月	10.3%	17.2%	50.0%	19.0%	3.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは47.8となった。前回調査より3.5ポイント低下し、横ばいを表す50を4期ぶりに下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		47.9	58.3	55.5	51.3	47.8
	家計動向関連	45.8	56.3	51.5	49.2	44.7
	企業動向関連	48.6	60.5	62.5	54.2	50.0
	雇用関連	60.0	65.0	60.0	55.0	60.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	1.7%	18.6%	52.5%	23.7%	3.4%
平成29年12月	8.3%	28.3%	53.3%	8.3%	1.7%
平成30年 3月	3.6%	32.7%	45.5%	18.2%	0.0%
平成30年 6月	3.6%	17.9%	60.7%	16.1%	1.8%
平成30年 9月	0.0%	14.0%	66.7%	15.8%	3.5%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは53.9となった。前回調査より6.0ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.6	50.0	50.9	47.9	53.9
	家計動向関連	45.6	47.2	48.6	46.5	49.3
	企業動向関連	50.0	55.3	52.9	50.0	59.7
	雇用関連	68.8	50.0	60.0	50.0	65.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	0.0%	18.2%	60.0%	20.0%	1.8%
平成29年12月	1.7%	20.0%	58.3%	16.7%	3.3%
平成30年 3月	1.8%	21.1%	59.6%	14.0%	3.5%
平成30年 6月	0.0%	20.0%	56.7%	18.3%	5.0%
平成30年 9月	1.7%	24.1%	65.5%	5.2%	3.4%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは47.4となった。前回調査より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を18期連続で下回った。

表2-9 景気の現状判断DI

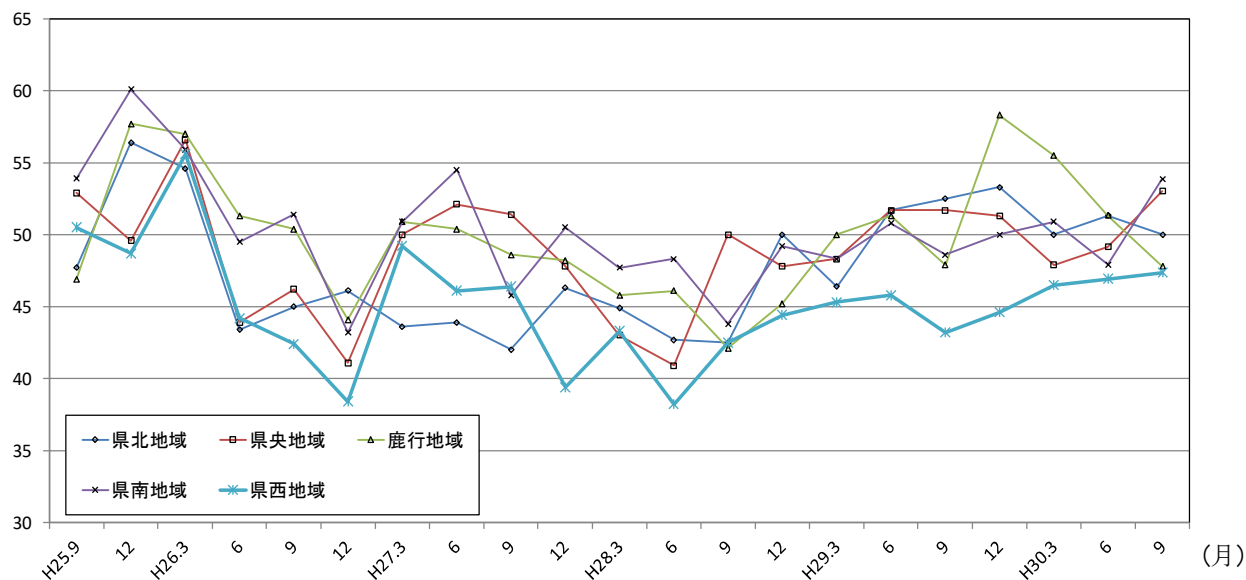
分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		43.2	44.6	46.5	46.9	47.4
家計動向関連		37.1	38.2	44.7	45.6	42.9
企業動向関連		50.0	48.7	46.1	46.1	54.4
雇用関連		60.0	75.0	60.0	62.5	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	1.7%	16.9%	47.5%	20.3%	13.6%
平成29年12月	0.0%	21.7%	46.7%	20.0%	11.7%
平成30年 3月	1.8%	21.1%	59.6%	14.0%	3.5%
平成30年 6月	1.8%	17.5%	54.4%	19.3%	7.0%
平成30年 9月	3.5%	17.5%	52.6%	17.5%	8.8%

(DI)

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.03	30.06	H30.9月
県全体	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4
県北	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0
県央	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0
鹿行	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8
県南	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9
県西	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4
全国	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2 51.4	50.6 47.4	49.9 50.0	49.6 51.1	53.9 53.9	51.7 48.9	48.2 48.1	47.3(原数値) 48.6(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.9となった。前回調査より0.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		54.6	51.3	51.8	50.0	50.9
	家計動向関連	53.4	51.4	49.3	47.0	50.7
	企業動向関連	59.2	52.6	56.6	56.6	51.3
	雇用関連	43.8	43.8	50.0	43.8	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	3.3%	23.3%	61.7%	11.7%	0.0%
平成29年12月	3.3%	18.3%	58.3%	20.0%	0.0%
平成30年 3月	0.0%	24.6%	61.4%	10.5%	3.5%
平成30年 6月	0.0%	21.4%	58.9%	17.9%	1.8%
平成30年 9月	3.4%	17.2%	60.3%	17.2%	1.7%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.9となった。前回調査より3.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		53.4	50.0	53.8	50.8	53.9
	家計動向関連	52.6	48.7	52.6	49.3	50.7
	企業動向関連	50.0	48.4	51.6	50.0	60.9
	雇用関連	70.0	65.0	75.0	65.0	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	3.4%	22.0%	59.3%	15.3%	0.0%
平成29年12月	1.7%	18.3%	60.0%	18.3%	1.7%
平成30年 3月	3.4%	30.5%	47.5%	15.3%	3.4%
平成30年 6月	3.4%	23.7%	49.2%	20.3%	3.4%
平成30年 9月	5.2%	24.1%	53.4%	15.5%	1.7%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは50.4となった。前回調査より0.9ポイント低下したものの、横ばいを表す50を5期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年 9月	平成29年 12月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月
合計		51.7	55.0	56.8	51.3	50.4
家計動向関連		51.4	51.4	55.9	50.8	49.2
企業動向関連		55.6	59.2	59.4	52.8	52.6
雇用関連		40.0	65.0	55.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	0.0%	22.0%	64.4%	11.9%	1.7%
平成29年12月	5.0%	23.3%	60.0%	10.0%	1.7%
平成30年 3月	5.5%	25.5%	60.0%	9.1%	0.0%
平成30年 6月	1.8%	21.4%	58.9%	16.1%	1.8%
平成30年 9月	1.8%	15.8%	66.7%	14.0%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは51.7となった。前回調査より0.4ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年 9月	平成29年 12月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月
合計		48.2	51.7	53.5	51.3	51.7
家計動向関連		47.1	50.0	55.0	50.0	47.9
企業動向関連		47.1	53.9	51.5	52.6	55.6
雇用関連		62.5	55.0	50.0	55.0	65.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	0.0%	20.0%	58.2%	16.4%	5.5%
平成29年12月	1.7%	16.7%	70.0%	10.0%	1.7%
平成30年 3月	1.8%	24.6%	61.4%	10.5%	1.8%
平成30年 6月	0.0%	18.3%	70.0%	10.0%	1.7%
平成30年 9月	0.0%	19.0%	69.0%	12.1%	0.0%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは43.4となった。前回調査より9.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

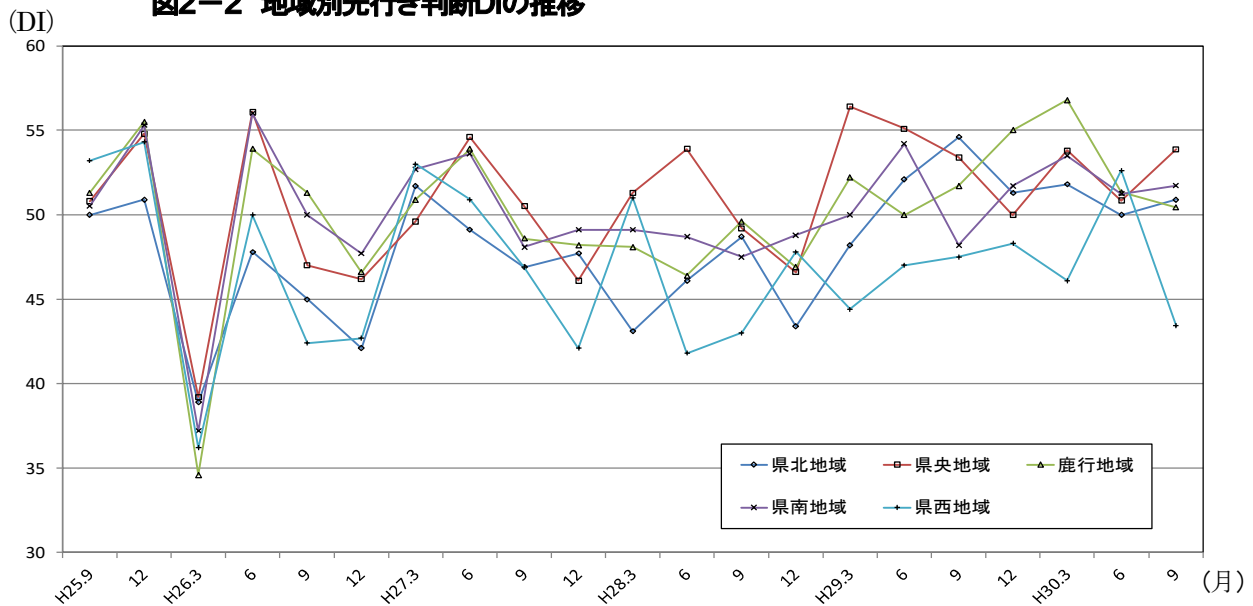
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年	平成30年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		47.5	48.3	46.1	52.6	43.4
家計動向関連		42.1	46.5	45.5	50.7	42.1
企業動向関連		53.9	48.7	43.4	53.9	44.1
雇用関連		60.0	60.0	60.0	62.5	50.0

表2-20 回答構成比

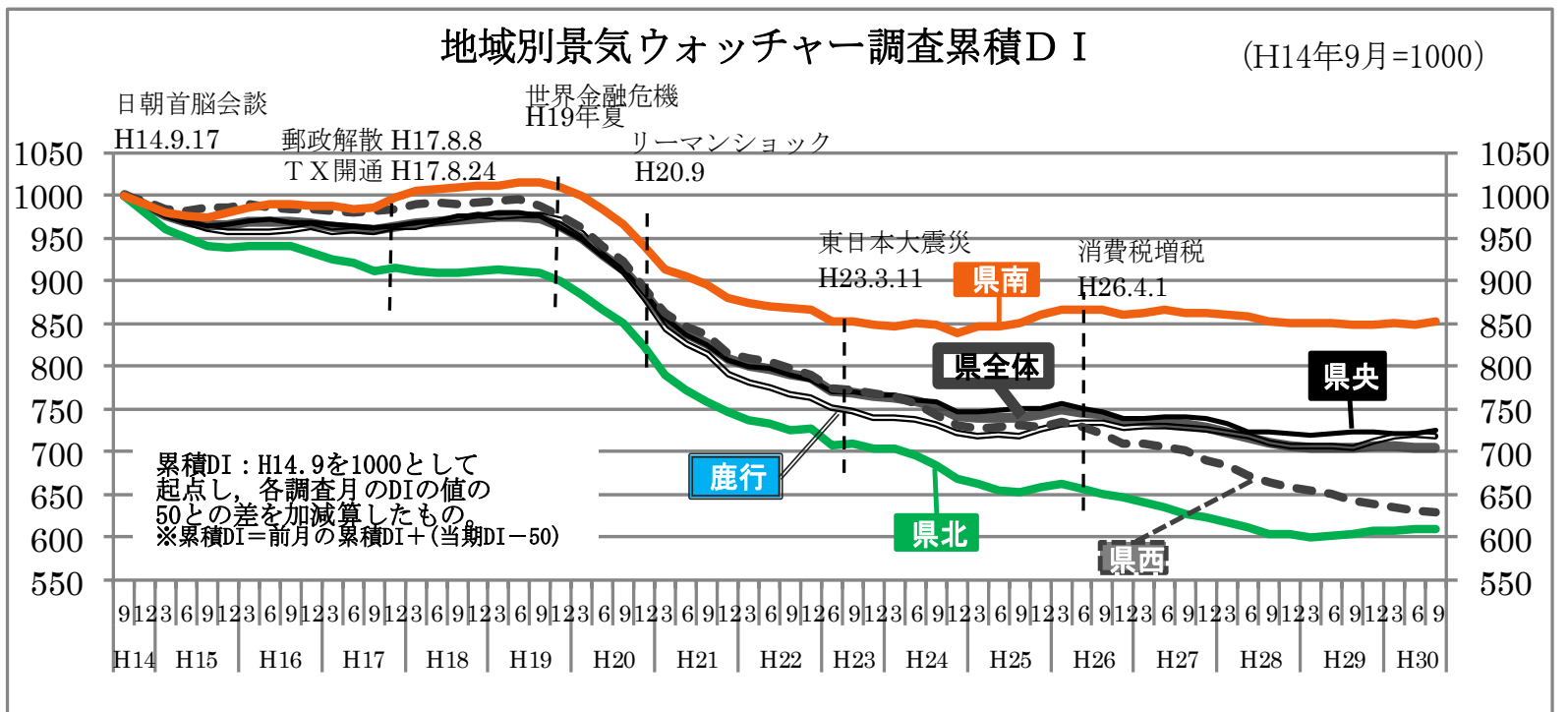
	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 9月	3.4%	16.9%	54.2%	16.9%	8.5%
平成29年12月	2.8%	11.1%	63.9%	13.9%	8.3%
平成30年 3月	0.0%	22.8%	50.9%	14.0%	12.3%
平成30年 6月	0.0%	29.8%	54.4%	12.3%	3.5%
平成30年 9月	1.8%	14.0%	50.9%	22.8%	10.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.03	30.06	H30.9月
県全体	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1
県北	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9
県中央	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9
鹿行	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4
県南	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7
県西	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4
全国	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7(原数値) 51.3(季節調整値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の状態判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業 (電気機械器具)	前年と比べて受注金額が増加している。
やや良くなっている	家計	スーパー	安い果物より、少々高くてもおいしい品物が売れている。
		スーパー	売上げUPもあるが客単価上昇も見られる。必要最小限の買い物ではなく、良い品があれば購入する姿勢が見られる。お財布に少し余裕がある。
		小売業 (弁当・惣菜店)	会話の中で、人手が出てきた感じの話は出ている。
		小売業 (時計)	高齢者が並品ではあるが、すんなり買って行くようになってきた。
		ラーメン店	弊社でいえば、餃子の御販路が広まっている。
		ラーメン店	来店されるお客様から、ゆったりと明るい気分が感じられる。
		ゴルフ場	①年々ゴルファー人口が減少傾向にある。 ②対前年同期比で-3.3%の来場実績。 ③3か月前の6月比で増加している。 ④地域来場者が猛暑で減少。⑤県外からの来場者増である。
	住宅販売会社	消費増税に向けて真剣に考えているお客様が増えている。	
	企業	製造業 (化学工業)	取引先からの新規受注の話が増えてきた。
		製造業 (精密機器)	製造業は元気です。
運輸業		貨物保管の依頼が例年に比べて多い。	
運輸附带サービス業		関連会社からの部品注文の頻度が多くなってきた。	
雇用	求人開拓員	若年層や第二新卒者の利用が少ないことから、企業の積極的な採用は続いており、緩やかに景気が回復していると判断する。	
変わらない	家計	酒・各種商品小売業	夏の繁忙期で昨年より売上げは増加したが、同業他店の閉店により増加したため、この分を差し引くとそれ程変わらない。
		コンビニエンスストア	店舗での売上げ・客数はそれ程変化していない。また、担当エリアの主要企業の業績から考えてもそれほど良くなっている感覚はない。
		小売業 (燃料)	販売数量横ばいです。
		小売業 (水産物)	売上げの伸び悩み。商品の購入価格 (平均) が上がらない。
		レストラン	売上げも変わらないので、変わらないと思う。
		スナック	異常気象が続くせいか、外出や旅行等を控える人が多いように思うので、変わらないと思う。
		観光型ホテル	お盆を過ぎてからはお客様に動きが見られず、ゴールデンウィーク明けと同じ状況に思える。
		観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊は宿泊者数・売上げ共に微増傾向である。日帰り客については、人数は微増であるものの売上げは減少しており、客単価は依然として下落している。トータルとしての売上げは、前年同期とほぼ変わらず、今月の景気は変わらないと判断する。

変 わ ら な い	家計	旅行代理店	前年度と比較し、3か月前と現在の受注状況に変化が見られない。
		タクシー運転手	3か月前と売上げ、利用者数が特に変化がないと感じる。
		タクシー運転手	働き方改革などによって、大手企業の残業が極端に減少している状況です。生活給の減少（残業手当）があり、飲食店などに出る機会も減少すると思われる。
		ゴルフ場	個人的な仕事の量は増えているが、人員削減のため社内的人数が減っている。
		ゴルフ場	特に変わったところが見受けられない。
	企業	ボウリング場	今年は梅雨の時期が極端に短く、また記録的な猛暑であったことから、お客様の増加が見込まれたが、海や山等他のレジャーを楽しまれる方も多かったせいか売上げは現在まで例年並みで推移している。目立った景気の回復は実感できない。
		林業関係者	前年度、同月と対しても変わらない。
		水産業関係者	変化見られず。
		製造業（食料品）	取引内容、取引環境等において特段の変化なし。
		製造業（電気機械器具）	工事量に変化が無い。
		製造業（電気機械器具）	現在は、売上高、生産高など3か月前と同様に推移している。
		製造業（一般機械器具）	3か月前と比較しても状況に大きな変化が無い
		製造業（輸送用機械器具）	8月の国内販売台数は各社の軽自動車新型モデル投入により2か月連続で前年同月を上回り好調であったが、普通車や小型車はトヨタクラウンの好調も目立ったが全体に横ばいで、トラック・バス等大型の伸び悩みは健在化している。今月の景気の大きな変化は感じられない。
		製造業（精密機器）	生産は横ばいです。今年は動きが鈍くて、見積りは多いですがまだ決まっていので来年あたりかなと思います。
建設業		お客さまや金融関係者との話でもあまり変化はない。	
不動産業	顧客単価が上昇傾向にない。即決せずに十分に検討期間と情報を取り、最良の選択をしようとしている。		
情報通信業（情報サービス業）	上期より下期が毎年活性であり、特に夏場は企業の夏季長期休暇もあり、大きな変化は見られません。		
雇用	求人広告	新店オープンや新規事業などの話がほとんど無い。	
	公共職業安定所	新規求職者及び新規求人数の前月比は、新規求職者は3.8%増、新規求人数は13.4%減となり前年同月と同様の傾向であった。	
	学校就業関係者	特に変わったことが無い。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	今月の前年比と3か月前の前年比とを比べると、今月の前年比の方が下落率が大きい。
		商店街代表者	昼間に歩いている人が少ない。8月、9月は連休も多く、現場の進行も遅れがち。
		スーパー	販売面では惣菜の売上げが落ちており、お客様の買い方もシビアで値引きしても必要なければ手を出さない。西日本災害で、夏のドリンク入荷制限があり、本来売れる商品が売れない状況であった。（トラック運転手ごと、西日本優先で行っていたため。）
		自動車販売店	今年の異常気象により、日中暑すぎて外に出ようとするお客様が少なくなったように感じる。中古車は、現場を見て購入する人がほとんどだが来店するお客様が少なかった。
		小売業（酒類）	7月～8月は猛暑であったが、ビール類は売上げ減少、飲料水は炭酸系が好調だった。全体的には来店客数は減少している。
		食堂	格差があり過ぎです。若い人は単価に関係なく食べますが、年長者は二人で一個を食べる。野菜を取りに来るのに、食べていかなくてはと考えていると思う。
		タクシー運転手	タクシー利用が減っている。企業関係の昼間の移動が減っている。夜の飲食利用も減少。タクシーチケット（社用）が減って、自腹（現金払い）になっている。
		ドライブイン	客数93.8%、平均単価96.6%、買上げ点数92.0%と、いずれも下回っている。
		写真店	来客数の減少があり、売上率が悪くなっている。自然災害（長く続く夏の猛暑、雨）のため予定が変更され、外出控えて来訪者の減少に繋がりがつある。
		企業	製造業（電気機械器具）
金融業	ここ3か月での全体的な動きとしては変動なし、と判断できるが、取引先より取得した決算書の財務内容を業種や規模を問わずに分析すると、前期よりも悪化している先が多く、また現状や今後のヒヤリングを実施しても明るい兆しがないことから、やや悪くなっていると判断しました。日立市を支えてきた日立製作所の今後の動向も不安感は募っており、また人口減少にも歯止めは効いていない現況にあります。		
悪	家計	タクシー運転手	乗車回数が減少している。
		レジャー施設	前年までは売上げが上昇傾向にありましたが、直近の3か月を含めて本年度に入り、前年度よりも売上げが良かった月が皆無だった。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	旅行代理店	前年度比で、サマ一期（7月～9月）の売上げが良くなっていたので、景気は上向きと思われます。
		住宅販売会社	消費増税でお客様が動き出している感覚があります。
	企業	農業関係者	秋の収穫時期となり、米、栗、梨等の販売代金の収入がある。
		製造業（窯業・土石製品）	スポットで受注があった。
		製造業（一般機械器具）	全般的に良くなっています。
製造業（精密機械器具）	全社売上げが前年対比約130%であり、また一従業員当たりの前年対比も約123%と例年になくアップしています。		
やや良くなっている	家計	商店街代表者	例年、7月8月は受注や来店客が減るが、今年の8月は忙しかった。個人の印鑑の購入も多く順調に来店客も増えた。役所からの受注も順調に有った。しかし、民間会社、企業からの受注がほとんどなく厳しい状況が続いているので、差し引き少し良くなった。
		コンビニエンスストア	例年以上に厳しい残暑の影響で、飲料、アイス等の買上げ点数が増加している。
		割烹料理店	今月は近隣の学校の運動会やお祭りなどの催し物があるため、賑わうと思います。
		ドライブイン理・美容店	インバウンド、特に台湾ツアーが前年に比べ客数が大変多くなりました。
		ペット美容室	9月はとても忙しかった。最近、新規の紹介客が増えてきている。
	企業	不動産業	季節要因が大きいですが、愛玩犬に対する意識が向上していると思う。
		サービス業（コンサルト業）	単身のお客様が3か月前、前年と比べても増加しているので良くなっていると判断する。
	雇用	人材派遣業	仕事の受注が増えている。
		公共職業安定所	仕事の依頼が増えてきている。 当所管内では、有効求職者数は平成24年4月から76か月連続で前年同月を下回り、有効求人数は平成29年2月から18か月連続で前年同月を上回っている。景気をけん引する製造業では、建設機械・エレベーター・自動車部品・医療用器具・半導体製造装置など外需主導で好調を維持しており、求人も継続している。景況感の改善が続く中で、業務拡大・経営の多角化を目指す企業からは、新たな職種での求人募集を受理する機会も増えつつある。
	変わらない	家計	商店街代表者
百貨店			この数か月の流れを見ても、変化はあまり感じられない。
スーパー			客数は微減、単価は微増という傾向は変わらない。
スーパー			数値状況、客数、単価など前回と比べ大きな変化は見られない。
コンビニエンスストア			特に変化要因がない。
自動車販売店			市況、市場とも、ほぼ横ばいで推移しています。（新車販売台数等）
農産物直売所			ギフト商品の売れる価格帯が変わらない。飲食の予約の価格帯も変わらない。
レストラン			予約や個人での利用でも客単価が変わらず、大きな変化はみられない。
レストラン			打ち合わせの中で、予算面で増減もない感じである。
都市型ホテル			特に変化が見られない。
都市型ホテル			現在の利用、予約状況とも好転はしておらず、3か月前と同じように前年を下回っている。
観光型ホテル			台風の影響を除いて、昨年度とほとんど変わらない。
旅行会社			募集の集客が増えていない。
バス運転手			金庫箱の収入から変わらないと思います。
タクシー会社	運行回数、売上げ等あまり変動がない。		
レジャー施設	昨年比では利用者は減少しているが、曜日の並びや猛暑、台風の影響等であるため、景気そのものの変動はあまり感じられない。		

変わらない	家計	スーパー銭湯	今夏の早すぎる梅雨明けに始まり、猛烈な暑さの夏が到来し、海水浴客による効果が期待できると思いを巡らしている中、8月に入ってからのいくつかの台風の影響により海水浴客効果は消えてしまいました。猛烈な酷暑だけが残り、不要不急の外出は避けた方が良くと連日報道され、期待が大きく低下してしまった施設は多かったと思います。
		レジャー施設	一次値下がりを見せた燃料費が再び上昇している。このことから、3か月前と変わらないと思われれます。
		建築設計事務所	職人の確保や安全管理の徹底等建設費も依然高騰気味であり、設備投資が足踏み状態と感ずる。
	企業	製造業(食料品)	大口受注は回復したものの、夏の異常な暑さで外食業態は不調。
		製造業(金属製品)	3か月前も現在もフル稼働状態は変わらない。大手が協力業者を必死に探しており、視察や訪問が多くなった。受注に関しては選別している状態で、工期のない条件は断らざるを得ない状況になっている。
		建設業	僅かに上向いている感、様子見しないと疑う。
		運輸業(道路貨物運送業)	一般貨物の荷動きはやや良くなっているが範囲内である。
		金融業	県内景気は緩やかに回復している等の報道もありますが、当組合取引先の中小企業のお客様においては、特段の変化はなく、3か月前の売上高や利益率も変化がないことから、変わらないとしました。
		サービス業(広告業)	広告宣伝の出稿量が低いまま変わらない。
雇用	求人広告	採用難による停滞感。	
	学校就業関係者	企業の求人状況について3か月前と比較して、特段の変化は見られない。	
	求人開拓員	いばらき就職支援センターにおける求人件数、センター利用求職者数ともに大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	百貨店	不安定な天候が客数や売上げに影響した。
		スーパー	客単価の低下。
		スーパー	天候不順、災害等で野菜が高騰しており、家計を圧迫しているようだ。
		スーパー	食料品、飲食などは何とか昨年度の売上げを確保できているが、衣料品、雑貨品は大変厳しく苦戦している。お客様は本当に必要な物で安価なものにしか手を出さない状況にある。
		楽器販売	高額商品の動きがとて悪くなっている。
		タクシー運転手	3か月前は繁忙期だったため、営業回数が多かったが、現在は若干減っているため、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー会社	全体的にやや減速しているように見える。稼働状況から稼働回数・乗客数ともに減少し、特に水戸駅からの乗車率が低下している。
		ゴルフ場	7～8月の猛暑の影響や台風等天候に関する情報への過敏な反応もあり、悪天候時のキャンセルが、以前より増加しているように思われる。
	ゲームセンター	自店舗が8月で開設1周年を迎えたものの、開設時の売上げ以上の結果をのこせていない。	
企業	製造業(印刷・同関連業)	前回より売上げが減ってしまった。(ユーザー側に規制がかかり受注減)	
	製造業(印刷・同関連業)	月々の売上げ実績の低迷、また訪問先のお客様との会話など良い話が出てこない。	
悪	家計	観光名所	3か月前の前年比よりも今月の売上げの前年比の減少率が大きくかなり景気は後退している。高額商品も前年より売れておらず、逆に仕入れや材料費や経費は値上がりしている。
	企業	製造業(食料品)	天候不順による自然被害が現実的にも、心理的にも影響を与えている。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	ドラッグストアの出店や客単価、買上点数が上がっているため、やや良くなっていると感じます。	
		衣料品販売店	季節要因が一番大きい理由になってしまうが、「その時必要な物」をお客様に購入していただけるようにしているので、例年以上にお客様からの要望のあるアイテムは、極力店頭で扱っているため、お客様の滞在期間が少しずつ伸びていると感じる。ただ9月は洋品等を扱うお店は難しいと思う。	
		運転代行	売上げがやや良くなっている。	
		ゴルフ場	気温が下がり徐々に来場者も増加傾向。秋雨前線の影響次第。	
	企業	製造業（電気機械器具）	受注が順調	
		製造業（金属製品）	仕事量が多くなった。	
	雇用	公共職業安定所	3か月前より、求職者がやや減少し、求人数がやや増加している。	
		求人開拓員	酷暑の夏が過ぎ、これからの秋から冬にかけての商品合戦が勢いを増している様子である。品数もメニュー等（特にコンビニ等）も豊富になっている。しかし、一つ懸念材料は10月からの最低賃金の引き上げがどのように響くかである。	
	変わらない	家計	商店街代表者	事業者とのヒアリングでも、総じて不変の回答が多い。
			スーパー	特に良くなる様な事がない。
スーパー			今月の前年比と3か月前の前年比では大きな変化が見られない。	
スーパー			客数昨年対比、売上高昨年対比等に大きな変化がみられない。	
家電販売店			集客数の前年比未達が継続。必要不可欠時のみの購入傾向にある。	
農産物直売所			お客様の買い方は、特に変わらない。客数や客単価もほぼ横ばい。	
農産物直売所			宣伝次第で客数は変わる。景気が良くなる話題が無ければ変わらない。最低賃金が上がるので、景気が良くなれば良いと思う。	
和食レストラン			若干良化傾向が見られたが、また横ばいに転じている。猛暑の影響が大きく来店客数が伸びない。	
洋食食堂			昨年が通年で110%の売上げだっただけに、前年をクリアする月はまだ2回だけですが、前年に近い売り上げを続けています。	
割烹料理店			お客様の話では、仕事はあるが人手不足で、人を確保するには人件費が高くつくので、利益には結びつかないと言っていた。	
観光型ホテル			3か月前と比較しても宿泊予約などの状況は変わらないと思う。	
タクシー会社			当社の売上げやスーパーの混雑具合等から推察した感想	
タクシー運転手			売上げはその都度変動はあるが、現状では変わらないと思う。仕事の内容については、高低はあるが、仕事を増やすには地域向上をめざし、サービス業に徹して近場、遠距離に関係なく作業態度をUPしてゆく。	
ドライブイン			この夏の猛暑による農産物への影響が心配される。	
ゴルフ場			お客様の日々の購買を見て、特段、景気の良し悪しを感じることはありません。	
レジャー施設			商談の件数等、特に変化が感じられない。	
住宅販売会社			変わらないと思う。またそう感じている。	
住宅販売会社	変化を感じない			

変わらない	企業	農業関係者	農産物の販売単価が高値で推移している品目があり、景況感は3か月前とほとんど変わっていないと思われる。
		製造業（化学工業）	当社業績に特段の変化なし。
		製造業（食料品）	売上げもアップしていない。大きな注文も特に入っていない。暑さのための悪影響が大きいと思われる。
		製造業（食料品）	鯖、鰯缶詰ブームがつづいているが、イカやサンマの不漁による魚価高に対して、比較的安価な魚種製品が売れているのであり、景況感は横ばいと感じる。
		製造業（鉄鋼業）	良くも悪くもない状況が続いていると感じている。
		建設業	世間一般では、景気が良いという声も耳にしますが、建設業に携わる者としてはそのように感じません。
		建設業	住宅資材販売をしているのですが、地元工務店は仕事が少ないです。ハウスメーカーに多く受注されています。
		運輸業（道路貨物運送業）	景気がよくなった実感がない。
		運輸業（道路貨物運送業）	業績は3か月横ばいの状況で、前年対比もアップしてない。
		金融業	3か月前と比べても、取引先等の売上げ推移に特段の変化はありませんでした。
		保険業	米価も農協・業者の買い取り額が14000円で前年とほぼ同じだが、収穫量が少ないと聞く。
		サービス業	製造業、加工業において特段の需要増加に繋がる動きはなく、概ね従来と変わらない動向と考える。
		火力発電所	販売量に変化なし
		雇用	人材派遣業
民間職業紹介業	相変わらず求人企業に対する求職者が少なく、マッチングが厳しい状況が続いている。		
学校就業関係者	学生への求人は、昨年同時期より多いが内定率は変わっていない。人は欲しいが、厳選していると思える。また、離職者対象の講座受講者が少し増加傾向である。増加の要因として、転職条件が良く自己都合で増えているのか、それ以外で増えているのか今後の推移を見ないと分からない。		
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	近辺での工事が終了してしまった。
		小売業（菓子類）	今年の夏は異常な暑さが続き、和菓子の売上げが今年の同時期より落ちている。9月に入っても変わらない。
		小売業（薬品店）	台風、地震等の災害が各地で起きていて景気に対してもマイナス感がある。
		小売業（食品）	今年の夏は異常気象による暑い日が続く、熱中症に見舞われる毎日で「外出をせずクーラーのある部屋で過ごして下さい」という注意が放送され、町には人影が減ったような気がする。小売り店の売上げ減少の要因と考える。
		小売業	天候不順で客足が伸びない。
		日本料理店	会社の接待などの会合が上の方は行っているが、中堅クラスの方が少なくなっている。
		観光型ホテル	宿泊者の予約が少し減少している。
	企業	製造業（鉄鋼業）	建築部品等の受注がやや落ちている。
	内装工事業	買うに当たって安い商品を選ぶ傾向があるようだ。利益の少ない商品ばかりで苦しい。	
悪	家計	クリーニング店	6月の梅雨が短かったため（1か月）雨量が少なく、インゲン豆、加工用トマトの収穫量が減少した。米の収穫量も2～3割減だそうです。粒も小粒です。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	製造業（その他）	取引先の注文数が増加した。	
やや良くなっている	家計	スーパー	客単価が上がっている。	
		都市型ホテル	客室稼動も良くなってきている。	
		タクシー運転手	近くで大型流通倉庫の工事を行っているので、関係者が1日15回程度利用していただいている。	
		タクシー運転手	駅から出張と思われるお客様が乗られることが多くなった。	
		ゴルフ場	通常夏季は落ち込みがあるのだが、まずまずの業績であった。	
		ゴルフ場	予約が上向きになってきている。記録的な猛暑で外出を控える等の報道がされていた依然と比較して来場者も増えてきている。プレーの全てを屋外で行うゴルフにとっては大きな要因だ。	
	企業	製造業（食料品）	つくば市の大型ショッピングモールでの入店者（お客様）が増えている。また、つくば駅構内の土産店での個人消費額が大きくなっている。	
		製造業（家具・装備品）	景気の良いときのイメージが残っている等、良いという感覚にはなれないが、振り返ってみれば、多少でも良い方向かなと感じています。仕事は高額のオーダーが増えたのですが、経済的にゆとりが持てないのか、修理、修復等細かい仕事が多くなってきたようです。	
		建設業	3か月前は大した工事もなく片付けや草刈が多かった。今は土浦花火関連の工事で忙しいのは毎年のことであるが、前年同時期の工事受注量を見ても20%増えているので景気はやや良くなっていると判断する。	
		運輸業（倉庫業）	新規問合せが増えてきている。	
	雇用	公共職業安定所	新規有効求職者数が減少している反面、新規有効求人数が増加していることから、雇用情勢はやや良くなっているものと思料する。	
		学校就業関係者	業務の関係で、景気状況よりも雇用状況が指標となるが、3か月前も、現在も雇用状況が良く、良い状況が続いている感じを受ける。	
	変わらない	家計	スーパー	去年の売上げ客数と比較してもさほど変わらない。
			家電販売店	前年比は3か月前と特に変わっていない。
スーパー			今月と3か月前の前年比を比較してもほとんど変化はない。	
コンビニエンスストア			お客様の買われ方が変化ない。	
家電販売店			6月～9月の前年比は売上げ、入店共にほぼ横ばいです。そのような数字からも大きくは景気は変わってないと思われます。	
農産物直売所			変わらず。異常気象により野菜の生育に影響が出て、出荷量が減少。	
小売業			今年は例年になく猛暑の夏となり、生活者にとっては、厳しい生活環境でした。涼を求めて、来店客は多かったが買上げにつながったとは言い難かった。今後、野菜などの生産物に影響が出てきたら、消費にマイナスも心配される。	
小売業（生花店）			つくば市のみが良くなっている状況で、周辺部は変化が無い感じがする。土浦市内での新装開店のお店が、ここ数か月で数えるほどしかない。	
ホームセンター			経済効果に結びつくような大型プロジェクトもなく、話題性のある動きもなく、今後3か月先の景気についても殆ど変化はないと思われる。土浦市では、10月6日（土）に毎年恒例の土浦全国花火競技大会が開催され、土浦市内にもわかに活気づいてきている。日本三大花火大会の1つであり、今年で87回目の開催を迎える歴史ある競技大会である。約75万人の来場者数が見込まれ、この日ばかりは土浦市が大いに活気づく一大イベントである。	
小売業（米穀）			毎年この時期は新米入荷で忙しいはずが動きが静かです。縁故米も出回るのので、さらに静かです。今夏の猛暑の影響から、お米の収量が減っており先行き不透明感があります。	
洋食食堂			景気は落ち着いています。（台風の際はキャンセル出ますが）こちらの地域は、大きな災害も受けにくい土地なのでありがたいと思います。	
寿司店			幸いにして、台風も地震もなく良かったです。被害を受けた方には心からお見舞い申し上げます。景気に関してはほとんど変わらず、来店数、お客もいつもの方です。顔ぶれがほとんど変わりません。	
都市型ホテル			宿泊は、集客、単価共に好調に推移しているが、レストランは、集客に苦戦している厳しい状況であった。そのことから、あまり変わっていないように思われた。ブライダルは、人口動態含め減少方向が見込め、一般宴会は単価の安いところに流れる傾向も見られた。この夏は、ビアガーデンの開催を例年より小規模にしていたが、予約状況としては、まあ良かったかなと判断出来る。	
タクシー運転手			乗車回数及び1か月の売上代金平均は3か月前とほとんど変わらない。地域の集客に関する設備が無く、人の動きも以前と変わらない。	
タクシー運転手		お客様が今までと変わらず良くなれないと言っていた。		
タクシー会社		電話があまりならず注文がこない。		
工場見学案内		サービスエリア	平成29年2月の茨城県内圏央道全通に伴い常磐自動車道の交通量減少傾向にあったが、平成30年6月に外環道が開通したことにより交通量は微増。入館者も同様の傾向。各個人の購買意欲は相変わらず高い率を示しており、交通量の増加したエリアにおいては、それなりの売上げを示していることから、前回同様特段の景気の変動はないと判断した。	
		工場見学案内	工場見学者数が前年に比して減少傾向にある。猛暑により人の動きが鈍いように思われ、一般見学、団体見学ともに予約人数が減少している。反面、物販部門では売上が伸長しており、購買意欲の下落は感じられない。個人入館者は見学者数減と比例しているが、買上点数増により、客単価が上がってきている。	
		ボウリング場	売上比率に変化が無く、客単価にも変動がみられない。	
理・美容店		「不景気」と言う人がいらっしゃるので、まだまだ不景気なのでしょう。国のトップが変れば景気もかわるのでしょうか。		
理・美容店	売上げ・動員・新規の数が変わらないし景気も変わらない。			

変 わ ら な い	企業	農業関係者	7月からの猛暑は農作物に対する影響が大きく、その対応に苦勞していた。職に関しても暑さが影響し、消費が減った。生産物の生産量も減り、消費拡大には繋がっていない。夏を乗り越えることに一生懸命で、その他のことに気持ちが行っていない。
		農業関係者	9月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年6月期～と比較すると両者ともにほぼ変わりはない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（一般機械器具）	変化なし
		製造業（食料品）	客数客単価とも変わらない。
		製造業（飲料）	変化なし
		製造業（窯業・土石製品）	局地的に発生する自然災害や猛暑のため、生産効率があがらない。
		不動産業	売買・賃貸とも3か月前と変わらない。
雇 用	金融業	金融業	各業種とも特段の変化はなく、業況もほぼ横ばいの状態。不動産売買事例も大きな動きはなく、前回と同様に冷え込んでいる感じが見受けられ、物件全体の動きも鈍い。新築物件も少しあるようだが、目立った動きはない。土木工事、建設業等の受注状況も大幅な乖離はなく、前回とほぼ同様である。企業の設備投資事業も活性していない。西日本の台風や北海道の地震の影響もなく、景気自体は、お客様の様子から判断して、3か月前と変わっていないように見受けられる。
		人材派遣業	良くなっていると感じる部分もあるが、人材不足の影響が大きく、さほど変わっていないと思われる。
		求人広告	顧客と話す中でも、良い話を聞かない
や や 悪	家計	スーパー	近隣に3か月前に出店した大手スーパーの影響により、客数が97%（前年比）落ちている。客単価の上昇でなんとか売上げを維持している。
		和食食堂	行事が少なくなっている。
		レジャー施設	売上げが前年と比べて落ち込んでいる。
悪	家計	和食食堂	前年と比較し売上げが下がっています。
		旅行代理店	一次回復傾向かと思われたが、猛暑、大雨、台風、そして地震等々私どもの業務形態は、ある意味自然との共存と言っても良いほど切り離せない。自然災害で何件もの取消が発生。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	客数、電話回数が多くなっているように見える。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	前月が最悪だったので、9月こそは売上げを倍増させるんだとの強い思いと努力がお客様に伝わったのか、今月、今、現時点では注文も予想以上に受注出来、工場の稼働率も高いので、今月は先月の2倍以上の売上げを確保できると思います。また10月の受注残が例年以上にあるので、楽しみです。
やや良くなっている	家計	自動車販売店	新型車の効果が多少出ている。
		レストラン	以前に見られなかった高額の「サーロインステーキ」や「牛ヒレ」が入ったコース料理が思いの外出るので、景気は良くなっていると感じる。
		旅行会社	来年の国体に向けて、リハーサル大会等で県外からの来訪者が増えている。
		商店街代表者	季節の変わり目で消費がやや伸びている。
	企業	製造業（化学工業）	顧客であるエレクトロニクス業界の需要増。
		製造業（金属製品）	6月～8月までは、仕事の依頼が減っていた。
		不動産業	事業用物件の動きが良くなっている。
雇用	人材派遣業	求人が増えている。	
	求人開拓員	無理してまで、条件に合わない仕事をしようと思わない余裕のある人が増えてきた。	
変わらない	家計	商店街代表者	食品小売りなので3か月前も今月も暑さが続き、「変わらない」と回答したが、悪い方の「変わらない」だ。
		スーパー	3か月傾向で、お客様お買い上げ状況は変わらず、大きな変化は見られない。
		家電販売店	前年と同じ売上げのため、入店客数、単価などに変化が無い。
		農産物直売所	農産物の単価は上がっているが、客単価は上がらない。（使う金額が決まっているかのようだ）前年比売上げ横ばいの推移。
		ホームセンター	良くなっているように思えるが、例年に比べ季節品（夏物）の動きがよいだけで、その他はそれほど変化は見られない。
		和食レストラン	売上げについて今月と3か月前と比較するとあまり変わらない。
		タクシー会社	特に変化を感じられない。
		タクシー運転手	前回と同じで客足も変化なし。飲食店の夜の閉店が早い。夜の客も少ない。
		ドライブイン	来店客数や、お客様の買い物状況を見てもあまり変わらない。
		ドライブイン	お客様の消費行動に大きな変化はなく、景気が回復傾向にあるとは感じられない。来場者、客単価に大きな変化はない。
		ゴルフ場	予約状況で判断
		ゴルフ場	若干購買意欲が低下しているように感じるが、台風や猛暑の影響であり、大きな変化としては感じていない。
		パチンコ店	年間でみると減少しているが、3か月ではさほど変わらない。
		理・美容店	お客様との会話の中でも、良くなったというのは出てこないし、変わりばえしない。
		住宅販売会社	8月の夏休みシーズンをはさみ、総合展示場に来場される方は一時的に増えるのは毎年のことで、それ以外の土日祝日は相変わらず閑散としている。打ち合わせ約束で来場される方以外はほぼ無に近い。現時点で増税前の駆け込みの動きは見受けられない。よって3か月前と変わらないと判断します。

変わらない	企業	農業関係者	3か月前に比べて、さほどお客様が増えたように感じない。
		農業関係者	事業収益も減っており、むしろ景気は後退しているように思う。
		製造業（食料品）	3か月前と変わらず景気は悪い。
		製造業（窯業・土石製品）	受注数の増加等の良い要因もあるが、働き方改革等で有休消化、最低賃金増加等の悪い要因もある。
		製造業（輸送用機械器具）	特に変化は見られない。
		製造業（窯業・土石製品）	季節的には良いのだが、過去と比べると良くない。
		製造業（金属製品）	前回同様客先からの引き合いは順調といえるが、ロットが小さく収益的には横ばいの状態である。
		製造業（電気機械器具）	前回同様、受注増による人員増の要請は一部の部門のみである。
		金融業	3月前と比べても、お客様の販売状況や受注状況に変化がみられない。
	雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は1.3倍台後半の超微増微減で推移している。
学校就業関係者		3か月前と同様に、求人企業が多い。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	この夏の酷暑で売上げ低迷し（開店以来最悪）台風等の天候の影響もあり、春・秋の季節感もなくなり、悪のスパイラル状態である。
		コンビニエンスストア	今月の前年比は、3か月前と比べてやや悪くなっています。景気はやや悪くなっていると判断します。
		ラーメン店	仕入れ、他、値上がりしているため売上げは変わらずですが、3か月前の方がサービスできたと思う。
		飲食業	客の入りが少ない。金額が安い。
		都市型ホテル	7月の気温が高かったため来客者数が減少
		旅行代理店	燃料代が高く下がらない。募集をかけても集客率が50%くらいで、採算が合わない。団体旅行は一つもない。ツアー客はある程度集まるが、女性がほとんどである。（大手旅行業の場合）我々は、近くのお客様と親密な日帰り旅行を実施したい。
		レジャー施設	来場者数の減少。宴会等の減少。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	印刷業界の構造的な問題なのか、特に地方で需要が減少している。
		建設業	今月の売上げが前年比と比べると低く、伸び率が悪くなっている。
	雇用	求人広告	取引先の工場で設備投資が落ち着いた。そのため、求人も一段落した様子が伺える。そのお客さんによると、在庫も増えているため今後も採用調整をすることだった。景気が良い時にはそのような話は出ないので悪くなると感じている。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	今まで多く来店して下さったお客様の来店頻度の低下を感じている。買上点数も常連客中心に減っていると思う。
		衣料品販売店	他地域への流出が多く、今までのお客様は高齢化し、来客、売上げ共に減少している。
		製茶販売	ますます景気は悪くなり、全体的に出し渋り、出せない、そのように見える。
		日本料理店	飲食店、不動産業等を経営しておりますが、3か月前と比較して毎月赤字です。貸店舗も空き室で、賃料を安くしてもなかなか入居者がいない。駅南口は空き室で寂しいものです。北口も市役所が空きビルの中に入って、店舗はシャッター通りのような現在です。
		クリーニング店	全体に品物の数が減っているのと節約する話を良く聞きます。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（電気機械器具）	前年と比べて受注金額が増加する見込み。
		製造業（化学工業）	各社とも人材確保・採用に苦しんでいる。人手不足はすなわち好況である。
やや良くなっている	家計	スーパー	売れてくると品揃えが多くなる。また、お客さんが多くなると良い方向になる。
		小売業（弁当・惣菜店）	希望的な意味もあるが、大きな伸びは無くてもこのままの状態ですと続いているのではないかと思います。
		小売業（時計）	全体の景気の様子、メディア等の数字に少しずつ近づいて行くと思われる。
		ラーメン店	卸売の販路が決まっている。
		観光型ホテル	季節的な部分が大半を占め、政治・経済的な観点からでは変動はないと思われる。
		ドライブイン	秋シーズン、天候が良好であれば、客足も伸びるが、客単価もそこそこ上がってくる。
		ゴルフ場	対前年比、対3か月前比で来場実績はやや伸びている。今後の天候状況に留意する。
		住宅販売会社	消費増税に向けて加速していく。
	企業	運輸業	取引先の生産計画も前年に比べ増えている。
	雇用	公共職業安定所	過去3か月の新規求人数の状況は、増加傾向にあり事業所の採用意欲は高い状態が続いている。
変わらない	家計	商店街代表者	顧客からの問合せの中で、3か月前の物件についての情報が少ない。
		スーパー	現状と同じく、お客様の購入動向は、必要な物だけの需要が続くと思われる。企業としても年号の変更によって、今後経費がかかることも含め、無理はできなくなっている。
		スーパー	物価の上昇が10月から予定されている。電気・ガス等少し控える傾向になるかもしれない。
		酒・各種商品小売業	個人の小売店は個客の収入増があれば売上に反映されるが、そのような様子がない。
		衣料品販売店	変化の兆しが見えない。
		自動車販売店	販売が上向きになる要素がない。
		小売業（酒類）	週末金曜日は、企業団体での宴会予約も少なく期待できない状況と聞く。
		小売業（水産物）	県北地区の人口流失、観光地としての集客の弱さから、変わらないと判断した。
		スナック	贅沢を控え、貯金する人が多いと思う。
		ラーメン店	3か月前の見通しが出来ない。来店されるお客様の高齢化を感じる。
		食堂	急に良くなるとは思えない。チェーン店には個人経営ではついていけない。
		旅行代理店	3か月前の受注状況が、前年度と比較して変化がない。
		タクシー運転手	働き方改革などによって、大手企業の残業が極端に減少している状況です。生活給の減少（残業手当）があり、飲食店などに出る機会も減少すると思われる。
		タクシー運転手	景気が良い話がない。日立市の人口減少。
		レジャー施設	今後3か月前を考えると、その間にプラス要因となることが見当たらない。
		ゴルフ場	相変わらず年配者が多い。若い方の来場者が少なくなった。
		ゴルフ場	良い動向も、悪い動向も現在見受けられない。
		ボウリング場	年末年始の時期になるため、子供会を始めとした団体利用はもちろん個人のお客様も増加傾向になると予想されるが、試合に参加される常連客までは見込めないもので、景況感は現状のまま推移すると思われる。
写真店	就活をしている方が、自分の思った仕事につけない。金銭面でも不安であるなどの気持ちでいることを知る。		

変 わ ら な い	企業	林業関係者	製品の価格も大きな変動はないことを考えると、一時的なもので、景気を左右するほどではない。
		製造業（食料品）	大きな変動がない。（数量微減，単価微増）
		製造業（食料品）	パート募集での応募がありません。人手不足により売上げアップが望めない。
		製造業（一般機械器具）	世界情勢含め不安要素があるため、今後の見通しを判断するのは難しい。変わらないと回答したが、悪くなる可能性もあると思っている。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月後大きな変化は見られないと想定される。
		製造業（精密機器）	やはり動きが鈍くて先もまだ変わらないと思います。3か月先も横ばいだと思います。
		建設業	3か月前比較と同様に、前向きな話は聞こえてこないで、景気は変わらないと思う。
		金融業	今後の3か月においては、売上高の増加が見込まれ、設備資金や運転資金の需要増加が見込まれますが、一部の取引先に限られることから、景気は変わらないと思います。
		不動産業	消費増税による駆け込みを期待しているが盛り上がりを感じない。
		運輸附带サービス業	受注量が平準化してきた。
雇用	学校就業関係者	判断材料が無い。	
	求人開拓員	多少の増減はあるが、求人数・求職者数共に大きな変化はないと想定する。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	今夏の猛暑，豪雨災害，台風災害，また北海道の地震災害等により，食品や生活必需品の価格高騰が予想される。それにより，生活関連商品の買い控えへと，消費マインドが低下すると思われる。
		コンビニエンスストア	タバコ増税・値上げの影響から若干悪くなると感じている。
		小売業（燃料）	石油の価格上昇で販売量減の可能性はある。
		観光型ホテル	前年同期と比較し，宿泊予約は好調であるが，日帰り利用者の予約は例年の約1割減となっている。このことから，3か月先の景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	常連でいつも利用している方の利用数が減っていると感じる。
	企業	水産業関係者	大雨・台風の影響がありそうである。
		製造業（電気機械器具）	受注案件が少ない。
		製造業（電気機械器具）	半導体製造メーカーからの受注が相当減っている。在庫調整とのことである。部署によっては，70%程度の作業しかない状況である。この状況は，当面続く見込みである。
	製造業（電気機械器具）	取引先の計画によると，建築延伸の影響により7～9月，10～12月と生産減少の傾向にあります。	
	雇用	求人広告	なんとなく景気が良くなるだろうと思っていたが，実情はそうもいかず期待感から危機感に変わっているように感じる。
悪	家計	タクシー運転手	飲食店の閉店が増えている。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	旅行代理店	年末年始の旅行申し込みも例年に比べて早いので、景気は良くなっていると思われます。
		ペット美容室	年末年始に向けて経済が動く。
		住宅販売会社	消費増税の周知と、住宅ローンの金利上昇。
やや良くなっている	家計	割烹料理店	3か月後は忘年会シーズンなので、良くなることを願いたい。
		バス運転手	茨城県スポーツセンター、水戸市民会館建設に当たり作業員・関係者の方々が夜の繁華街に繰り出していると思います。
		ドライブイン	これからの季節、海浜公園のコキアや紅葉の時期なので、インバウンドも含め、立ち寄っていただきたい。
	企業	農業関係者	市内では観光イベントが多数開催され、観光客が多く訪れ商工関係者は潤うのではないかと。
		製造業(食料品)	大口受注は維持の見込み。外食も行楽シーズンで回復する見込み。
		製造業(印刷・同関連業)	年末に向け商戦の時期なので、受注が増えると予測され、景気はやや良くなると思います。
		製造業(窯業・土石製品)	すでに受注している物件の納品が開始される。
		製造業(一般機械器具)	このまま今の良くなっている状態が続いて欲しい。
		製造業(精密機械器具)	直近の受注残高や営業からの引き合い情報などによれば、今後も市場の状況に動きが感じられます。
		建設業	底打ち感があり、僅かずつ上がる気配あり。
		サービス業(広告業)	年末商戦なので、宣伝広告は毎年多くなる。ただ、昨年と比べて良くなる要素が見当たらない。
		サービス業(コンサルタント業)	受注の予定が増えている。
	雇用	人材派遣業	仕事の依頼が増えてきており、今後の受注予測も上向きである。
		公共職業安定所	景気の先行き指標である新規求人数は前年同月比で増加傾向であることから、海外情勢の急変等がない限り、今後3か月も今の上向き状態が継続する可能性が高いと思われる。ただし、人手不足が深刻さを増しており、受注の抑制や生産の遅れを生じさせたり、若手への技術伝承に支障をきたし始めたり、営業時間や開業日の見直しを余儀なくされるなど、不安材料も顕在化してきている。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			どこかが良いと、どこかが落ち込む、個人、企業、事業所、官庁、役所等の全部の受注が底上げしないとなかなか良くならない。
百貨店			予算上は伸びを見ているが、直近の状況から見て当月並みの状況であると想定される。
百貨店			アイテムによってはプラス傾向にあるものもあるが、全体的にみると、凹凸は平らになってしまっているのが現状。
スーパー			このところ客単価の低下が著しいので、デフレに戻ってしまうような気がする。
スーパー			変化にとぼしい。
スーパー			今後高齢化、人口減という状況からすると、厳しい環境にあると思いますが、今後3か月では変化する要因がない。
コンビニエンスストア			タバコ税の増税により、タバコの値上げによる売上げ増は見込めるが、客単価が下がっており、全体としては、大きな変化はないと思う。ただし、最近は天候による影響が大きい。
自動車販売店			EV, HV, 自動ブレーキ搭載車がほぼ各社とも出揃った。
農産物直売所			ギフト商品の予約状況と飲食の予約価格が同じため変わらないと思う。
レストラン			年末に向け利用は多くなると思われるが、現在の予約状況を見ると、大きな変化はなく客単価UPはみられない。
レストラン			打ち合わせや申込みの状況も変化はない。
都市型ホテル	景気が良くなる要素が全くないので、今とさほど変化ないと思う。		

変 わ ら な い	家計	観光型ホテル	予約状況が昨年とあまり変わらない。
		旅行会社	予約が入っていない。
		タクシー運転手	繁華街への人の流れが悪くなっているため、やや悪い現状と変わらない気がする。
		タクシー会社	特に期待する要因がないと思われる。
		レジャー施設	現状を踏まえ、今後3か月先もほぼ変わらないと思われるが、そろそろ消費税率アップの影響がでてきそうな感じがして、良くなる要因が見当たらない。
		ゴルフ場	世界的な景気の不透明感が懸念され、ゴルフ人口の増加も難しい状況下、ビジター客を含めた優待制度の拡充や接客技術の向上等の施策の効果を期待しているが、当面客単価の上昇には結びつかないことから、景気は現状のまま推移するものと思われる。
		ゲームセンター	良くなる要因、悪くなる要因が現状思いあたらない。
		スパ・銭湯	たび重なる災害による復興がこれからという中、秋の行楽シーズンを大いに楽しむ気持ちは薄いのではないかと思慮します。穏やかな秋の季節が迎えられればと安近短の行楽に期待したい。秋の紅葉、各イベントの集客によりにぎわうシーズンになればと思います。
		レジャー施設	緩和観測から値下がりすると思われていた原油価格が再上昇しており、先行き不透明なことから3か月先も変わらないと思われます。
		建築設計事務所	職人の高齢化や働き方改革等の推進と建設コストが上昇する要素は増える一方である。現状維持がやっとならないか。
企業	製造業(金属製品)	受注残も平年以上あり、しばらくは同じ状況が続くと思われる。ただし、原材料や人手や協力業者の確保がうまくいかずスムーズに仕事を進められるかどうか課題となっている。	
	運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きに大きな変化はないと思われる。	
	金融業	お客様の受注状況や販売計画からみても、今後3か月先で増加するような動きが見えないことから、変わらないとしました。	
	不動産業	住宅供給過剰により、客単価が減少。時期的にはお客様が増える時期ではあるが、景気としては今と変わらない。	
雇用	求人広告	採用難の解消見通しが無い。	
	学校就業関係者	就職活動を続けている(就活を終了しない)学生がそれなりの数で存在している。これは昨年度同時期と同様の状況である。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	ガソリンの値上げが続いているので、可処分所得は減り、なかなか消費が上向かないと思う。
		スーパー	今夏、館内で2店舗が退店し空区画が更に増えた。1店舗は決まったが跡が続かずこのままいくと館全体の集客に影響が出る恐れがある。
		楽器販売	これまでの数か月の動きから、急上昇する気配が感じられない。
		都市型ホテル	年末に向けての予約の伸びは、現時点と比べてさらに若干下がっている。今後も大きな伸びは期待できず、やや悪くなると予測される。
		タクシー会社	茨城国体の影響で、県内外の関係機関のご利用を期待していましたが、大きな変動はなく、県内常連客の利用は変わりありませんが、県外からのご利用客が減少傾向にあります。
		観光名所	12月は閑散期であり、毎年売上げが通常の月に比べて下がるのだが、今年も上がる要素があまりない。日本全体で災害が続く景気も後退しているのではないか。
		企業	製造業(食料品)
製造業(印刷・同関連業)	資材の高騰や価格競争による。		
雇用	求人開拓員	米中の貿易戦争がもたらす景気後退懸念が心理的圧力となり、企業の採用活動の停滞が考えられる。	
悪	企業	コンビニエンスストア	10月1日から値上がりするタバコで利用者が減少すると考えます。その点から、お客様の消費は低くなっていくと考えます。

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業	夏場（6月，7月，8月）が良かったので来年も良いと思う。
やや良くなっている	家計	衣料品販売店	寒くなり出すと「必要な物」が増えてくるため，良くなっていると思う。またお客様の年代層の幅が今年は増えてきているので良くなっていると思う。
		小売業（菓子類）	今は天候のせいで売上げが落ちているが，3か月後は戻ると思う。
		観光型ホテル	宿泊者の予約が少し増えている。
		運転代行	代行の予約が増えてきています。
		ドライブイン	夏季は暑さが厳しかったため行楽地の打撃が大きかった。紅葉や果物狩りなど秋の行楽シーズンの経済効果を期待したい。
		ゴルフ場	コンペ需要が上がる時期である。
		住宅販売会社	消費増税が控えている。
	企業	製造業（電気機械器具）	今後も新規受注が増加の予定
		保険業	市内に7カ所のゴルフ場があるが，予約でいっぱいになってきている。プレー費も8月より1000円高になっているようだ。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			特に良くなる様な事がない。
コンビニエンスストア			今のところ，良くなるような情報が入って来ない。
家電販売店			最近の傾向から直近で変わるとは考えづらい。
農産物直売所			お客様の買い方に，なるべく余計な物は買わないという心理が透けて見えている。これは，ここしばらく変わっていないので，景気は変わらない。
農産物直売所			宣伝次第で客数は変わる。景気が良くなる話題が無ければ変わらない。最低賃金上がるので，景気が良くなれば良いと思う。
和食レストラン			猛暑は一服すると思われるが，自然災害等が多発し，皆に不安感があると思われる当社含む外食の景気は大きく変化しないと思う。
洋食食堂			人材の確保さえ可能なら売上げは見込めそう。
観光型ホテル			先の予約状況をみても変わらないと思う。
タクシー運転手			現状では変わらないと思う。タクシーの稼働台数をもう少し減らした方が良いと思う。待機台数が多い。会社としては稼働率をUPしたが，台数を減らしてもっとサービスに徹した方が良い。
ゴルフ場			若年層自体が減少傾向のため，長いスパンで見れば難しい状況ではあると思いますが，3か月後においては特段の変化があるようには感じられません。
レジャー施設			寒くなるとシーズンオフになるので，例年通り商談件数は減ると思われるが，免許教室の申し込み等は，例年通り推移している。
住宅販売会社			変わる要因がない。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	消費者の購買意欲は今のところ3か月前と比べるとやや落ちているのではないかと 思われる。
		製造業（化学工業）	当社業績に特段の変化なし。
		製造業（鉄鋼業）	今のところ新規の受注もなく大きな変化はない。
		製造業（食料品）	中小企業のお客さまや個人客が多いので、企業の業績が上がり、また可処分所得が 増えないとだめ。
		製造業（食料品）	トランプ政権による貿易収支赤字国に対しての関税引き上げ措置の影響が日本にも 波及するのは、避けられないことと、米国の金利引き上げに伴う株価低迷もあり、 当面景気浮上は見込めないのではないかと。
		製造業（鉄鋼業）	米中貿易戦争の影響が気になる点としてあるが、現段階で景気の変動に影響する事 項は思い当たらない
		製造業（金属製品）	貿易関連で、アメリカが関税25%を打ち出したため少しずつ受注が減るかも知れな いと思う。
		建設業	オリンピック景気は、集中して工事等が発注される都市部に関してではないでしょ うか？少しでもそのような状況があれば、景気上昇となると思われます。
		建設業	住宅資材販売をしているのですが、地元工務店は仕事が少ないです。ハウスメー カーに多く受注されています。
		運輸業（道路貨物運送業）	すぐに実感できないのではないかと。
		運輸業（道路貨物運送業）	12月に3%程度業績アップは見込まれるが、あくまで季節的要因によるもので、前 年も同様の推移を示している。
		金融業	今後3か月先においても、売上高や受注高が増加する見込みはなく、現状で推移す ると見込まれます。
		不動産業	このまま大きな変化はないと思うが、来年の消費税率の関係で住宅建築が少し良 くなるかも知れない。
		内装工事業	急に景気が良くなるわけでもないし、現状維持といっても失速しないことを願う。
		サービス業	全国的に見た場合は台風、地震等の災害の影響により景気が落ち込むと予想される が、関東地方は幸いにも大きな影響は受けていないことから、現況のままと考 える。
火力発電所	販売計画において前年比並。		
雇 用	人材派遣業	どこの企業も、増産・設備投資という言葉が少ない。オリンピックの影響が今一実 感としてない。派遣業界であるが、各企業からのオーダーもあまり変化ない。	
	民間職業紹介業	求職者が増えなければ難しい。	
	公共職業安定所	今のところ1.5~1.6で有効求人倍率が推移している。	
	学校就業関係者	特に変化の要因を感じ取れなかった。	
	求人开拓員	商品の充実と賃金の引き上げ、仕事はあるが人材が集まらない。お互いがどの様な 調整がされるかで良くも悪くもなるのではないかと。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	他社の出店の影響で競合状態が強まる。
		小売業（薬品店）	1年後の消費増税に向けて、直前は一時的に売上げが上がると思われるが、改善す る感じはしない。
		小売業（食品）	野菜の高値、米の平年作、景気は悪くなるとも良くはならない。農家が良くならな いとだめだ。
		割烹料理店	最近天災が多く、西日本豪雨や北海道の地震などで、材料の調達に難しく、材料 の高騰が予想される。
		日本料理店	いたるところで物価が上がっている。もちろん食材も上がっていて使うお金は増や さないといけませんが、使えるお金が変わらないので結果的に悪くなると思う。
		タクシー会社	米国のトランプ政権の対中国経済制裁の影響を受けて、やや悪くなると思う
		クリーニング店	今夏が猛暑だったので、種をまいても発芽しづらい。涼しくなってからまくので収 穫時期が遅れる。
悪	○	○	○

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	家電販売店	オリンピックが近づくとつれ映像商品が売れ始めると思う。
		タクシー運転手	10月に倉庫がオープンし、契約が取れそうなので利用が増えると思う。
		タクシー運転手	駅から出張と思われるお客様が乗られることが多くなった。今後、さらに出張が増えると期待している。
	企業	製造業(食料品)	お客様の消費税に対する反応があまり見られないので、景気はまだ伸びると思います。
		製造業(非鉄金属)	取引先からの受注が増加傾向
		建設業	年末で工事量が増えてくるのは毎年のものである。現在でも11月末までの工事が全て入っており、新規工事は12月からとお願いしている状況である。よって景気はやや良くなっていると判断する。
		不動産業	賃貸は繁忙期に入るため良くなると思う。ただし、例年に比べて成約件数は少なくなると予想している。
	雇用	運輸業(倉庫業)	高速道路を活用した輸送や利便性が認識されてきている。
		人材派遣業	消費税増税の駆け込み需要で、やや良くなると思われます。
		公共職業安定所	全国展開しているホテル、老人福祉施設、スーパーの進出企業があったこと等求人数は増加傾向にあり、求職者数は減少傾向にあることから、良くなるものと思料する。
変わらない	家計	スーパー	売上げ、客数ともさほど変わらない。
		スーパー	今年になって、前年比の比較をしてもほぼ横ばい状態であり、3か月先が良くなるかは判断しづらい。
		家電販売店	増税前の最後の冬ということも踏まえても、市場動向お客様状況に大きな変化はないと思います。
		農産物直売所	異常気象・自然災害による影響は暫く続くと思います。
		小売業(生花店)	土浦駅前通りや交通量を見ていると、良くなる期待は難しいと思う。市街化活性化事業の補助金を受けて開店した店でも、オープン当初より営業時間が短くなった。
		ホームセンター	変る要因が見当たらない。
		小売業(米穀)	北海道地震の影響がどの程度あるのか読めませんが、発表された作況指数が俄かに信じがたいです。それ次第では、今より悪くなると予想します。
		和食食堂	良くなる・悪くなる要因がないです。
		洋食食堂	当店は自分たちの働きやすいように営業してますのでこのまま。営業売上げに大きな変化はない。昨年度はUPしました。
		寿司店	我が家は郵政のお客や残留農薬研究所のお客様が良く来てくれます。この関係のお客様が来てくれるうちは安心です。色々な話が弾みます。
		都市型ホテル	いよいよ年末となると各業界とも商戦となると思えますが、宴会のオンハンド状況は、10月、11月は厳しいが、12月は昨年と変わらない。また、12月の宿泊予約もオンハンドも昨年比と大きく変らないで、景気は変わらず推移していると思える。
		タクシー運転手	企業及び個人においても節約が感じられる。日中の企業関係利用が増加していない。

変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	変る要素がない。
		タクシー会社	深夜の営業を停止したので、これからも利用する客は減少する一方だと思う。
		サービスエリア	常磐自動車道においては、交通量や入館者数の変動が今後も生じるものと想定されるが、お客様個人の消費傾向についてはそれほど変化はないと思われ、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはと りあえず変化なしと判断した。
		ゴルフ場	大きな変動要因は考えられない。予約はますます良い傾向にある。
		ゴルフ場	現在と比べ予約状況は平行で特に良くなるとは思えない。オンシーズンという季節 的状況を除けば、景気としては変わらないと思われる。
		ボウリング場	景気が上昇)する傾向とメディアで報じられているが、個人消費に変化がないと感 じる。
		レジャー施設	売上げの上下等判断できる材料が無いため、変わらないと考える。
		理・美容店	年末とか、トップが変わるとか、色々な要因があるのでしょうか、春までは変わら ないでしょう。逆にいろいろ変わってくればよいと思う。
		理・美容店	変る要素がない。
	企業	農業関係者	お客様全般による「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（一般機械器具）	変化なし。
		製造業（食料品）	景気に影響する要因がないです。
		製造業（飲料）	変化なし。
		製造業（家具・装備品）	仕事柄、忙しくなるとは、過去を振り返ってみても思えないです。次回のために しっかり仕事に身を入れたと思います。
		製造業（その他）	今月同様にそれほどの注文数が増えることがあるかどうかは、現状では変わりはない と思う。新規取引先の開拓により変わることはあるかもしれない。
		製造業（窯業・土石製品）	局地的に発生する自然災害や猛暑の影響により、受注は例年と同じぐらいあるが、 工期等の遅れにより、出荷が遅れている。
		製造業（一般機械器具）	変わるだけの材料が見当たらない。
		金融業	経済効果に結びつくような大型プロジェクトもなく、話題性のある動きもなく、今 後3か月先の景気についても殆ど変化はないと思われる。土浦市では、10月6日 (土)に毎年恒例の土浦全国花火競技大会が開催され、土浦市内にもわかに活気づ いてきている。日本三大花火大会の1つであり、今年で87回目の開催を迎える歴史 ある競技大会である。約75万人の来場者数が見込まれ、この日ばかりは土浦市が大 いに活気づく一大イベントである。
	不動産業	JR常磐線沿線とTX沿線では、不動産売買においては格差が広がっていると思うが、 全体としては今と変わらないのではないかと思う。	
雇用	求人広告	顧客と話す中でも、良い話を聞かない	
	学校就業関係者	良くなる・悪くなる要因が考えられない。	
やや 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	競合店の影響により客数が減っている。
		コンビニエンスストア	買われる個数が少なくなっている。
		小売業	今夏の猛暑で食材の値上がりが出たら心配される。
		旅行代理店	お客様が抱いた負のダメージが長引く可能性があり、何とか良くなってもらいたい との希望で、やや悪くなっていると思いたい。現実には厳しい。
		工場見学案内	秋の行楽シーズン、年末に向け人の動きが前年並みまで戻るかどうか、確実な要因 が見出せない状況。
企業	農業関係者	昨年に比べて米農家の収入は、収穫の減少と価格の低迷により減収となると思われ る。台風の影響による被害も多く、予定していない出費が増えているという声が聞 こえる。	
悪	—	—	—

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	都市型ホテル	年末に向かい、来客者数が増加する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	来年度の新生の制服など少々期待する。
		商店街代表者	総裁選も終わり上向き景気に期待を込める。
		レストラン	12月は一年で一番忙しい時期であるしお客の出費も緩むので良くなると思う。
		タクシー運転手	前回より収入が増えている。電話の回数が極端に多い。
	企業	製造業（金属製品）	現在施策中の物が量産化される見通しもあり、安定的な売上げにつながるのではないかと思う。
変わらない	家計	スーパー	現在の数値傾向は横ばい。景気は良くなるように思う。
		自動車販売店	新型車の効果は長期的に見込めない。
		農産物直売所	農産物の高騰は今後も続くと予想するが、単価高ゆえ、買い控えが心配である。農家の方も出荷の単価は良いが、出荷数量がまとまらない可能性がある。
		ホームセンター	客数、客単価に変化が見られない。この先も良くなる話題もない。地域環境も変化なし。
		旅行会社	同業者の廃業等が多く、やや悪くなる気もするが3か月はほぼ変わらないと思われる。
		旅行代理店	年金が少ないとぼやいている先輩が多い。先行き不安なので、お金は使えないので貯蓄すると言っていた。
		タクシー会社	特に変化を感じられない。
		タクシー運転手	地方経済の変化が鈍い。
		タクシー運転手	景気の良い話も出てこない。会社によっては残業で忙しいところもあるが、無いところは全くないと聞く。
		ドライブイン	ガソリン価格の高止まり等、エネルギー価格が上昇しており、年末にかけて景気が良くなる要因はあまりないように思われる。冬のボーナスが消費に廻ることを期待したい。
		ゴルフ場	予約状況で判断
		ゴルフ場	大きなイベントなどもなく、例年通りの景気と予測している。仕事の様子としては求人が多い反面人材不足になっているため、景気判断としては出来ない。
		理・美容店	賃金が上がらないと難しいと思う。
		商店街代表者	毎年秋から1月にかけては売上げの変動はない。
住宅販売会社	お客様から消費税・金利の話がポツポツと出始めているため、徐々に消費マインドが上がるかと思われるが、やや進みが遅く年明けからの感がある。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	事業収益も減っており、むしろ景気は後退しているように思う。
		製造業（窯業・土石製品）	仕入れ原価の増加等による価格改定も一段落したため、今のところ変動要因がない。
		製造業（輸送用機械器具）	特に変化は見られない。
		製造業（化学工業）	顧客動向に大きな変化なし。
		製造業（窯業・土石製品）	足元の景気はあまり悪い感じは無いが、10%に上がる消費税の心配でお金を使えない。
		製造業（金属製品）	先の仕事の見通しが少ない。
		製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しいがこの状況は当面継続すると思われる。
		金融業	3か月先の販売予想や受注予想に変化がなく、現状の水準で推移すると見込まれる。
	雇用	公共職業安定所	求人、求職では大きな変動は見込まれない。
		学校就業関係者	特段良くなる要素もないように感じる。就職倍率は、昨年と同等レベルである。
求人開拓員		今の段階で、仕事を焦って探していない・仕事に就こうとしない方が目立つので、3か月先も就業していなければ、景気はさほど変わっていないように見受けられる。	
やや 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	来月はたばこ増税もあり買い控え等により客数が下がることが予想されます。景気はやや悪くなっていくと判断します。
		コンビニエンスストア	コンビニエンス全体としては、客数の減少がこれからも進む予見をしており、悪くなる見込みがあります。最低賃金のアップは、従業員さんにとってはメリットがあり、消費の活性化も考えられます。
		衣料品販売店	年末に向けては、大手量販店等のセール等にお客様は流れて行く。
		家電販売店	増税の意識が高くなってきており、厳しい状態が考えられる。
		製茶販売	今と何も変わらないなら、価格高騰のためどうしても必要な物のためにしかお金を使わなくなるだろう。
		飲食業	客の不安な話が聞こえてきます。
		ドライブイン	各種増税の話が出ており、買い渋りが発生しそう。
		パチンコ店	時期的なこともある（農繁期等）
	企業	農業関係者	原材料が高止まりしているので、景気は悪くなると思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	この地域特有な問題なのか全くと言って良いほど、土地の売買がなく人口減少も止まらない。
製造業（窯業・土石製品）		9月、10月と思った以上に受注出来、本当にありがたいが、その反動が必ず出ると思うし、先行きは全く予想できないのが世の常です。しかし、おごり高ぶらずお客様の繁栄・繁盛を正面よりお手伝いし当社の向上につなげたいと常に考えております。	
建設業		原材料の値上がりや労務単価のぞうかにより、利益率が減少している。	
雇用	求人広告	数か月前からお客さんから景気の良い話が聞かれない。生産調整、採用調整などネガティブな意見が多く、景気は悪くなるように思われる。	
悪	家計	ラーメン店	ラーメン他価格を見直さなければならない状況です。値上げをすれば、売上げは悪くなるから景気は悪くなる。
		日本料理店	街に魅力が無い。町おこし等しているが、誰もやっても収入が上がるかと心配で手を出さない。人口も少なくなって人でも無く、自分達で街を良くしようと飲食店を辞めて、シニアのための脳トレのパソコン教室を始めました。頑張ってみようと努力していますが、なかなか大変です。
		和食レストラン	ガソリンも高止まりし、車で来店するお客様が減るように思う。
		レジャー施設	年末に向けての行動に、災害等での自粛ムードが全国的にでているのではないかと。
		クリーニング店	一部の企業は良くなっていると聞きますが、全体にはまだまだな感じがします。
	企業	製造業（食料品）	良くなる要因が見当たらない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	つい最近（ここ1～2年の間に）開店した飲食店が、ふと気づくと閉店していたりする。新店効果が長く続かないような気がする。
	スーパー	タバコ値上げで一時的に購入率が上がると思うが、その後の反動も前回同様起こると思われる。アメリカ、中国の摩擦から、プラスチックが絡む商品値上げや、北海道地震による西日本災害同様の品薄問題など、営業に支障が出る問題も起こりうる。
	スーパー	5年ぐらい前は女性客が8割くらいだったが、この頃奥さんと一緒の男性や、男性一人で惣菜などを買いに来るお客さんが多い。現在、女性客の割合は6割くらいだと思う。
	スーパー	衣料品は安さだけではなく機能性重視が強い。良い商品であれば受け入れてくれる。食品も品質により価格差があっても買入してくれる。彼岸ギフトなども実用的な商品になっている。
	酒・各種商品小売業	商品の値上げが多く、お客様も敏感になり商品どうしの比較や他店との比較をするようになってきている。
	衣料品販売店	インターネット・レンタルを利用する人が多くなっている。
	小売業（弁当・惣菜店）	石油などの値上がりや天候不順による生鮮品の値上がり、人件費が上がることによってじわりと収益に影響が出そうだ。どのように価格へ転嫁するかが課題となる。また、サービス業の慢性的な人手不足は危機的なものと言わざるを得ない。
	小売業（燃料）	高額商品については、以前よりさらに売れなくなってきた。
	小売業（水産物）	必要な商品以外は買うことがないお客様が多く感じる。
	小売業（時計）	大きな災害が続いているので、景気に水を差さないで欲しい。
	レストラン	景気が良くなる要素がないような気がする。全体的に日立の飲食店は客数が落ちてきていると思う。
	ラーメン店	那珂市にもいきなりステーキができる。今後も大手の参入が増えると思う。
	スナック	ハイブリット車を購入する人が増えている。
	ラーメン店	最近地元チェーンの飲食店が出店してきている。（はな丸、幸楽園、すき家）
	観光型ホテル	来年10月には消費税増税が予定されているが、軽減税率の適用範囲が難しく、経理やお客様とのやり取りでトラブルが起きないか心配だ。
	タクシー運転手	夜の飲食店からの利用者が平日は特に少ない。
	タクシー運転手	ガソリンの値上げで外出手控え。
	ドライブイン	免許返納したら、もう来れなくなるというお客様が多くなってきた。（高齢の方が、客単価が良かったのだが。）
	レジャー施設	最近では、従来にも増して、お客様の財布は堅いと感じます。客単価が減少する傾向にあります。
	ゴルフ場	75歳以上の方が目立つようになった。
	ゴルフ場	西日本台風被害、北海道地震の影響による消費物価の高止まり、ゴルフプレーの自粛ムードが心配。スポーツシーズンを迎えて予約の動向はプラスサイドで動いている。
写真店	スマホ等手軽にきれいに撮れる携帯の出現や、子どもの数の減少により、写真館に足を運ぶという行為が少なくなりつつある。	
住宅販売会社	消費税を意識した発言が多くなっている。	
企業	林業関係者	戦後植林された木材も成長する中、大径木の取り扱いが悪く、この解消は大きく景気を左右すると感じる。
	製造業（電気機械器具）	最低賃金が10月から改定（アップ）されるが、企業にとっては負担が大きい。
	製造業（食料品）	先日、デパートへ行ったら、祭りがあるためか多くの客がいた。一方近くのスーパーではあまり客がいなく、二極化していると感じた。
	製造業（電気機械器具）	イギリス高速鉄道の案件も生産終了の年度となるため、鉄道ビジネスにも業況の後退が伺える。
	製造業（輸送用機械器具）	米国の大統領中間選挙によって、トランプの再選が実現されるのかが世界経済における最大の関心事ではないかと想定される。一方、中国に対する関税引き上げが第三弾までエスカレートしてきており、日本経済にも大きな影響が出てくるものと心配される。
	製造業（精密機器）	新しく顧客が増えている。
	製造業（精密機器）	車以外は好調なので量産は今後も良いと思います。また、特に半導体については倍以上になるので準備を進めています。来年も増産になると思います。
	金融業	住宅の着工件数や、人口の増加等に関する上向き傾向もなく、街での人の流れも依然として沈静している感は残念ながら変化はありません。人や車の流れが変わるような変化に期待します。
	情報通信業（情報サービス業）	相変わらず人手不足の状況であり、ビジネスチャンスを見逃すケースがあります。
雇用	公共職業安定所	新規学卒者対象求人数は対前年比15.2%増加している。電気機械器具製造業からの受注増による人員確保のための派遣求人が増えた。
	求人開拓員	シニア世代（65歳～79歳）の新規求職登録及び求職活動が増えた。短時間労働のパートや自宅で仕事をする内職を希望し、採用される件数が増加しており、県北地域の人手不足解消に繋がっている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	地域的には、水戸市役所新庁舎や新体育館の完成などがありますが、直近の地価調査にあるように、県都の水戸は県南のような成長はなく、静かに衰退していく感じがします。
	商店街代表者	10月1日から「たばこ」が値上がりするが、以前の値上がり時は駆け込み需要があった。値上がり前は予約が入り通常の月の3倍位の売上げがあった。消費者も3か月位の買い置きをして対策をした。しかし今回の値上げでは殆ど予約が入らない。値上げしたら「この機会に量を減らす」「健康のために止めようかと思う」と言う方が多い。
	百貨店	遠方ではあるが、豪雨や震災等を背景に、全体としての消費マインドが低下傾向であるように感じられる。
	百貨店	インバウンドも少々みられるが、化粧品の動きが良い。
	スーパー	高所得世帯と低所得世帯間の格差が大きくなっている気配がする。大手スーパーの価格が低価格帯のPBブランドの商品などに対抗するために値上げが出来ない状態が続いている。未だに田舎の中小規模スーパーでは経営が厳しい状態が続いている。
	スーパー	天候、TV報道等でお客様の動向が大きく変化するように感じます。(以前よりインパクトが大きいように感じます。)
	スーパー	ある会社では将来を見据え、資産を売却して事業を縮小するそうです。今は良くても、いつ何時、何がおこるか予測できない中、従業員や取引先は大変だと思う。
	農産物直売所	気温の上昇する予報の出た日は、県外ナンバーの車の客数が激減している。
	観光型ホテル	家族連れの比率が増えた気がする。
	旅行代理店	ガソリンが相変わらず高いのが気になります。
	タクシー会社	子育て支援「ママサポートタクシー」の登録件数が大幅に増加し、ご利用も陣痛時や通院・買物とうにより、登録者の6割以上の方が利用されています。現在は、特定地域限定にて受付していますが、本事業の地域拡大によりご利用登録者が増加すると判断しています。子育てにやさしく便利な地域のPRを県外に発信して、定住人口を増加させることが大切な取り組みと位置づけて、利用者の意見を反映しつつ取り組み強化を図っていきます。
	ゴルフ場	全国的に人材が不足する中、募集をしても応募が少ない。
	スパ・銭湯	近隣地区の雑木林が開発され、住宅やアパート用地に急速に変わっています。好況感を漂わせていると思います。
	ペット美容室	銀行の預金はただの箱。それよりもお金に働いてもらうFXの話を周りで良く耳にします。
建築設計事務所	補助対象建設工事の一般競争入札に応札する業者が少なくなっている。「価格の競争前提で良い物は出来ない。」と言う声が聞こえる。	
企業	製造業(食料品)	特に飲食店は人材確保が難しい状況の上に、軽減税率対象外。ひどい仕打ちのように感じてなりません。
	製造業(印刷・同関連業)	来年は年号が代わり、統一地方選・参院選また国体や消費税が10%になる等々変化の時です。戦略をしっかりと考えていきたい。
	製造業(印刷・同関連業)	来年の茨城国体に期待しているが、その動きが感じられない。
	製造業(窯業・土石製品)	業界自体は仕事の量が少なく、競争激化している。
	製造業(金属製品)	リフォーム、車の購入、高額家電の購入など、大きなお金を使っている人が多くなったように感じる。
	製造業(一般機械器具)	作業量は増えてきました。人手不足です。大塚町双葉台団地近くに大きな住宅(アパート?)が出来ました。
	製造業(精密機械器具)	自社製品については、自動化による省人化へのシフトに市場の動きが強まっているようです。また、OEM先数社に関しては、海外市場の販売が、これまで以上に好調です。
	建設業	首都一極集中から漏れているのか、意識しているのか、人の動きが地方に進んでいる兆しあり。
	運輸業(道路貨物運送業)	西日本豪雨、台風21号、北海道地震など自然災害で物流に滞りが起きており影響を受けている。
	金融業	水戸黄門まつりが、8月3日(金)～5日(日)の3日間開催され、例年通りの大変な賑わいをみせました。また、第7回水戸まちなかフェスティバルが9月30日に開催されます。
	不動産業	当社の店舗(笠原)は、住宅の建築現場が非常に多く消費税増税を考慮して、契約件数が増える一方、賃貸アパートの退去が増えることが予想される。
サービス業(広告業)	駅ビルの居酒屋が、休日にもかかわらず予約なくても入れるようになった。	
工務店	東京に行く用事があった際に、東京の景気はとて上昇しているなど感じました。観光客が非常に多かった。	
雇用	公共職業安定所	当所が実施した現況調査(管内企業400社を対象)によると、建設業では若手の確保に苦慮しており、高齢の従業員に必要以上の負担がかかっているため高齢者の雇用環境や待遇の改善が課題になっている。製造業ではトランプ政権による貿易摩擦が不安材料になりつつあり、また人手不足対策として外国人の雇用に前向きな企業が増えている。情報通信業は活況を呈している反面、人材不足による受注の取りこぼしが増えている。運送業は人手不足対策として免許制度の改善を望む声がある。卸売業・小売業は原材料費や燃料費の高騰で仕入れ価格が上昇しているが、消費者の低価格指向もあり販売価格への転嫁が難しいため、賃上げ余力が少ない。医療・福祉は事業縮小やサービス低下をしづらいため、人手不足がそのまま職員一人当たりの負担増となっている。サービス業は少子高齢化・人口減少の影響を最も受けており、働く側としての人材不足と消費者側としての人口減少・ユーザー層の変化への対応を課題に挙げる企業が多い。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	2年後のオリンピック、パラリンピックの開催地として、行政を中心として、実行委員会が立ち上がった。今後の設備段階で多方面への波及効果に期待したい。
	スーパー	台風・地震などの天災による影響で生産や物流に一時的な混乱があり、商品の欠陥が多く見られた。
	コンビニエンスストア	私の担当区の範囲内でも、餃子の王将、クスリのアオキ、フィットネスジムの出店が年内に有ることから、景気はよくなっているのではないかと感じます。
	衣料品販売店	当社は1点あたりの単価が安く、大量に売れることで利益が出ていたが、お客様のニーズと合わなくなり、単価が上がるが、購入点数が下がっている。「単価が高くても良い物を1点」と考えているお客様が増えたと思う。
	家電販売店	必要不可欠の際に購入意欲が出ている訳で、より良い物に買い替えていくような行動ではない。
	農産物直売所	富裕層は知らないが、一般のお客様は、節約志向が身に染み付いているように思われる。だから、少しくらい良い方向に向かったとしても、現場に反映することはほとんどない状態。
	小売業（薬品店）	アマゾン等のネット販売の影響は徐々に大きくなっている。
	小売業	運送業界の運賃値上げが著しい。弱者の小売店にとっては、仕入れでも販売でも厳しい影響がますます強くなると思う。
	和食レストラン	大きく動きなし。悪い意味で安定してしまっている。
	洋食食堂	暑い夏だったが、ビールを含めたドリンク類が特別出数が多かったことはなかった。若者を中心に熱いメニューや、ボリュームあるメニューに人気が集まった。
	割烹料理店	コンビナートの企業の下請け業者では、求人を出すがなかなか人が集まらないという話をよく聞く。
	日本料理店	皆さん口をそろえて物価が上がって使えるお金（給料）があがっていないし、消費税が上がって良くなるイメージがないから今から消費を抑えていると、とても問題なことを言っていました。
	海鮮料理店	最近の方々の食事に対する考え方が良く理解できません。家族で安くするためにファミリーレストラン等ならわかりますが居酒屋に行く時代です。人口の多いところならわかりますが、限りのある人口のところでの営業は難しい。
	タクシー運転手	お客様に、どここのタクシーは最近態度が悪くなってきたとよく聞かすが、少人員の体制が会社全体に大きな影響を与えている。個人サービスをUPすべき。仕事の内容にもよるがレベルUPが必要。
	ドライブイン	茨城県で国体が開催されることから、これから国体まで県内でのスポーツイベントや合宿などの増加による経済効果が期待出来る。
	理・美容店	理美容業は低料金（1000円カット）が出店してからは、お客さんもそちらに流れていって、生活は苦しくなっています。
理・美容店	お客様との会話の中で、2020年までは仕事が忙しいと伺うことが多いです。	
企業	農業関係者	消費者が農産物を買う平均単価が昨年度より低くなっており、実質賃金が伸びていないため、購買意欲があまりないように思われる。
	製造業（化学工業）	最近起きた天災（関西台風、北海道地震）の影響が懸念。
	製造業（食料品）	茨城県水産試験場による秋漁予報では、鯖鱈の資源量増加が見込まれる中で、当地への新規参入業者による冷凍・冷蔵能力の拡大と輸出向け冷凍品（鯖・鰯等ラウンド品）の引き合いが強いことから、この秋冬シーズンの前浜水揚げ金額は前年より魚価高の想定のもと、大きく伸張して地域限定での景気は良くなると思うが、春先の魚群の移動とともに一過性となる確率が高い。
	製造業（電気機械器具）	人手不足が深刻化してきている。
	製造業（金属製品）	国内向け商品で、マンパワーの必要とされる商品は人手不足により生産出来ないのので、受注しない。
	建設業	来春の採用に取り組んでいますが、若い人材が集まり活気が生まれれば朗報なんです、企業の採用はなかなか困難を要しているのが現状です。
	建設業	全体的に仕事は少ないです。新築以外の仕事リフォームの工事に力を入れて行きます。窓の断熱ガラスの販売、防犯ガラス、カーポート、ガレージその他です。
	保険業	東関東自動車道潮来・鉾田線の工事と、国道355号バイパス工事潮来麻生線が始まっており、建設業者が忙しい。
内装工事業	老人ばかりで子供を見かけることが少なくなった。	
雇用	人材派遣業	鹿嶋市・神栖市にある「大企業」の設備投資が抑制されている。さらに増産傾向でもない。
	民間職業紹介業	外国人労働者の雇用や技能実習生の活用以外、生産性の向上は見込めない。
	学校就業関係者	スーパーやコンビニのリニューアルオープンが数件見られたため、企業としては景気が良いのかも知れない。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	外国の労働者（客数）が増えている。
	スーパー	夏の猛暑の影響か、現在出回っている果実、野菜の相場が読みにくい。サンマも昨年は高かったが今年は豊漁で安値安定している。
	小売業	最近天候不順の暗いニュースが続いている。西日本豪雨や、台風21号の被害や北海道地震など、生活者に与えるマイナスイメージが、消費に影響しないことを願うばかりです。
	小売業（生花店）	土浦市中心街の「売ビル」が急に増えてきた。特に「医療集合ビル」が売りにでていることに驚いた。早朝の常磐道に乗ると、建設業の足場業者トラックが東京へ連なって走っていく姿に驚く。渋滞の中での車の回りが、建設業の車に囲まれるぐらい寒い時があった。
	小売業（米穀）	飲食店の禁煙席がかなり増えたように思います。
	都市型ホテル	あまり景気が良い話を聞くこともなく、新しく進出される企業や周年イベントなど大きく考えている企業もあまりなく、ブライダル業界は減少、偲ぶ会などの葬祭業界も家族葬が増える中で縮小方向と推察される。ただ、宿泊に関してはオリンピックまで海外のインバウンド含め増えていくと思われる。最近の不安要素としては、地震、台風など自然災害が多く、報道も多く取扱いしていて、外国の宿泊客もこわがっていた。
	都市型ホテル	国体、東京オリンピックに向けてプレ大会等があり、国体の会議、宴会、宿泊が増えていつ。特にオリンピック時期の東京地区で会議ができないためか問合せが入っています。
	旅行代理店	旅行への参加の興味の度合いが鈍い感じですが、手控え感があります。
	タクシー運転手	同地域の同業会社が廃業した。
	サービスエリア	パート・アルバイトの募集をするも、応募が少なく困っている。
	ゴルフ場	ゴルフ場の予約はますますであるが、コンペの単価等はシビアな価格を要請されることもある。
	ゴルフ場	台風による近畿地方の大きな被害や連日の大雨、空港も被害を受け物流や旅行等にも大きな損害を受けている。北海道の大地震も追い打ちをかけて、皆沈んでいたが大阪なおみさんの賞金4億円とも言われる全米オープン優勝は本当に明るい話題だ。ここ数日来場者もこの明るい話題でもちきりだ。
	工場見学案内	高齢者の方の見学者数が減少している。
	ボウリング場	最低賃金の引き上げで中小企業が影響を受けると思うが、今後の景気がどの様に変化していくのか気になる場所です。
理・美容店	景気とは違いますが、やはり国のトップが変わるかもしれないというのは、皆さん興味があるらしいです。良い方向に変わってくれるといいです。	
企業	農業関係者	年ごとに暑さが厳しくなっているように感じる。高齢者夫婦でもコンビニがないと生活できないと話す。暑さで料理を（したくないからコンビニで買って済ませてしまう。高齢となれば食事の量も減ってくる。外食よりも手軽な中食を選ぶ方が多くなっているように感じる。
	製造業（家具・装備品）	いわゆる職人さんの仕事は結構ありますが、やはり高齢の方が多く大変苦心しているようです。技能士が不足していると思います。
	製造業（その他）	建設機械の動きが良い気がする。
	製造業（非鉄金属）	人手不足ではあるが、8月後半から応募者が増えている。
	建設業	電気工事業界は猛暑のおかげで大忙しである。一般家庭もそうだが学校や会社での大型エアコン設置も手が回らない状況だ。近所の私立幼稚園でも7月から大ホールに設置を頼んでいたが、未だに取り付けに来てくれないと延長が嘆いていた。
	不動産業	建築関係に携わる業者は好況のように感じる。サービス系は落ち込んでいるように感じる。
	運輸業（倉庫業）	車両の確保が困難になることが予想され物流コストの高騰が考えられる。
金融業	つくば市のつくばエクスプレスつくば駅前のつくばセンター広場で、9月14日から、お酒と食の地域特産品を楽しむイベント「プレミアムビールとうまいもの祭り2018」が二週にわたって開催される。会場は入場無料の立ち寄りビアガーデン。つくば市内の飲食店13店が参加し、ハムステーキパインのせ（筑波ハム）、特性タンシチュウ（花Q）など各店自慢の料理とともにプレミアムビールやプレミアムハイボールなどが楽しめる。日よけや雨天時用に400人が入れる大型テントも用意している。同イベントは、つくば市の公共空間活用の実証実験の一環。歩行者専用道路や広場を、飲食が楽しめるにぎわう空間に変える「つくばペデカフェプロジェクト」の一つ。	

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	近くの大型スーパーの移転から4年経つが、じわじわと影響が目に見えてきた。旧大型スーパー近隣の店舗の閉店が目立つ
	商店街代表者	入院を余儀なくされた。病院はいずれもいっぱい。看護師さんは忙しく、何を頼んでも「ちょっと待ってね」 介護施設も市内に4カ所新設。ドラッグストアも増えた。それに関連する医療事業（たとえば、おむつ、コルセット etc）も好調と聞く。
	スーパー	セール（特売）時の構成比が高くなってきている。競争店舗が増えているためか？収益は落ちている。
	衣料品販売店	地元の学校指定の物に関しても、ネットで情報を得るお客様が増えている。似たものがあれば、そのままネットでの購入になっているような気がする。
	メガネ・時計販売店	この数か月で近所のお店（物販業）が相次いで閉店されました。
	製茶販売	今までお金を持っていると思っていた老人や女性にも、出し渋り傾向が見られるように思う。そうすると、一般人と富裕層との開きが出てくるのではないだろうか。
	レストラン	境町において食品における出店（道の駅）に地ビール、パンの店等出来ている動きがあり、来年において町の中の競争力が激化していくと思う。
	日本料理店	都会と地方の差を感じさせられます。外食も少なくなっています。都会は景気も良くなっているが、地方は頑張っているがなかなか難しい。努力していくつもりです。
	旅行会社	インバウンド減少傾向有り。
	旅行代理店	新聞配達員に聞いたところ、購読者が減ったと言っていた。
	タクシー運転手	ガソリンが高騰しているの、買い物にも行けないし、旅行も行けないとみんなが話している。景気は悪くなると思う。
	パチンコ店	物が売れなくなっていると感じる。消費者の購買意欲が無いと思う。
	商店街代表者	季節の変わり目のため、やや消費が伸びているように感じる。
	住宅販売会社	自営の方は忙しくなっている様子があります。
企業	製造業（窯業・土石製品）	新卒採用等において、年間休日日数を気にされる学生が多く、良い人材の応募が少なくなっている
	製造業（窯業・土石製品）	個人消費に関して、若干持ち直しているのか？ 買物（高額ではない～10万円くらいまで）をしている人が少し増えた気がする。
	製造業（窯業・土石製品）	私の自宅、また当社の回り、近辺での太陽光発電事業が買い取り単価が安くなっても、事業を起す人や会社が多いのにビックリします。そんなに利益が得られるのだろうか、自分もやれば良かったのかと思う時もあります。が今の事業、仕事を天職だと思って、一日一日を昨日より今日。今日より明日と少しでも進歩向上するよう絶えず努力する意欲を燃やし続けたいと思っております。
	製造業（金属製品）	弊社のホームページを見てという問合せが増えている。実績や過去にとらわれないのか？
	建設業	公共工事の建築受注の減少と民間工事の減少が影響している。
	金融業	設備資金において、老朽化に伴う切替えが主であり、新規事業に伴う設備導入は少ない。
	不動産業	来年の消費増税に見据えた来客が多くなってきた。
	サービス業（コンサルタント業）	古河周辺地域では日野自動車の本稼働や圏央道の開通等で、トラックの通行量は多くなったと思いますが、他県ナンバーのトラックばかりで地元に対する経済効果は薄いものと思われれます。
雇用	求人広告	車ディーラーは以前に比べて混んでいるような気がする。その事をディーラーのお客さんに話をしたら、景気は悪くないとのことだった。お話によると、一時的なものとのことだったが消費税の増税を視野に入れて、前倒しで新車の購入が好調とのことだった。